

学生調査2018年3月卒業予定者の
就職活動に関する

Pick Up

内定獲得率 31.0%
前々年比 1.9倍2017年
5月1日
状況5/1時点で86.7%が「面接・試験段階」に突入
第一志望企業は「3,000人以上」規模 32.7%
(前年比6.9ポイントUP)**アイデム 人と仕事研究所**

WEBサイトでは、採用活動のヒントとなる情報を発信しています。

「就職活動に関する学生調査」 「新卒採用に関する企業調査」

学生と企業の「今」がわかります

人と仕事  <https://apj.aidem.co.jp/>

お問い合わせ

▶広報担当/望月・栗木 ▶調査担当/岸川・古橋

☎03-5269-8780 ✉kouhousitu@aidem.co.jp

結 果 概 要

2018 就職活動に関する学生調査 (2017年5月1日状況)

進捗状況

▶現在のステータス

【主な活動】

「準備活動段階」…………… 5.1%
「エントリー活動段階」…………… 11.2%
「面接・試験段階」…………… 52.4%
「内定獲得／就活継続段階」…………… 22.6%

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「準備活動段階」…………… 97.6% (前年比+1.2ポイント)
「エントリー活動段階」…………… 93.0% (前年比-0.5ポイント)
「面接・試験段階」…………… 86.7% (前年比+3.4ポイント)
「内定獲得段階」…………… 31.0% (前年比+7.8ポイント)

▶内定獲得状況

内定獲得率31.0%
平均1.6社 (前年+0.1社)
「1社」…………… 64.7% 「2社」…………… 20.3%
「3社以上」…………… 15.0%

▶会社説明会参加回数

平均17.8回 (前回+3.6回 前年-1.3回)

▶応募企業数

平均20.3社 (前回+2.4社 前年-1.3社)

▶エントリーシート・履歴書提出企業数

平均12.3社 (前回+4.6社 前年-0.2社)
「10～19社」…………… 32.4% 「5～9社」…………… 24.5%
「20社以上」…………… 22.1%

▶書類選考通過率

【書類選考受験社数】平均10.7社
【書類選考通過社数】平均7.4社
【書類選考通過率】72.1%

▶面接選考企業数

平均6.3社 (前回+2.7社 前年-0.1社)
「5～9社」…………… 34.4% 「10社以上」…………… 23.3%

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」
平均4.4時間 (前回-0.6時間 前年-0.1時間)
「学業に費やす時間」
平均2.9時間 (前回+0.7時間 前年±0時間)

▶終了予定時期

「5月末頃まで」…………… 10.4% (前年比+2.5ポイント)
「6月末頃まで」…………… 40.7% (前年比+9.0ポイント)

受験企業の状況

▶第一志望企業

第一志望の企業がある…………… 86.8%

【企業規模】

「3,000人以上」…………… 32.7% (前年比+6.9ポイント)
「300～999人」…………… 19.4% (前年比-6.9ポイント)
「1,000～2,999人」…………… 17.8% (前年比-1.6ポイント)

【業界】

1位「メーカー」 2位「金融・証券・保険」 3位「ソフトウェア・通信」

▶“記念受験”企業

記念受験の企業がある…………… 60.9%

【企業規模】

「3,000人以上」…………… 38.0% 「1,000～2,999人」…………… 31.6%
「300～999人」…………… 28.9%

【業界】

1位「メーカー」 2位「商社」 3位「ソフトウェア・通信」

▶“練習受験”企業

練習受験の企業がある…………… 72.1%

【企業規模】

「300～999人」…………… 36.8% 「100～299人」…………… 32.1%
「1,000～2,999人」…………… 26.6%

【業界】

1位「メーカー」 2位「ソフトウェア・通信」 3位「サービス」

学生の意識

▶自分のタイプ

「周りからの評価は高い方だ」…………… 77.7%
「積極的に就職活動をしている」…………… 67.1%

▶企業規模に対する志向

「大企業志向」…………… 50.6%
「中小企業志向」…………… 27.2%
「企業の規模は全く意識していない」…………… 22.2%

▶選考途中で気になってくる情報

「会社・社員の雰囲気」「採用担当者の人柄」「給与」

▶身につけている社会人基礎力

1位「主体性」…………… 38.0% 2位「傾聴力」…………… 37.1%
3位「実行力」…………… 36.1%

I N D E X

● 調査概要	p. 4
1 就職活動の進捗状況	p. 5
2 内定獲得状況	p. 7
3 企業規模に対する志向	p. 8
4 自分のタイプ	p. 9
5 1日の活動時間	p. 10
6 会社説明会参加回数	p. 11
7 応募企業数	p. 12
8 エントリーシート・履歴書提出企業数	p. 13
9 書類選考通過率	p. 14
10 面接選考企業数	p. 15
11 現在選考中の企業数	p. 16
12 企業への新たな応募予定（5月）	p. 17
13 応募時にチェックする情報と選考過程で気になってくる情報	p. 18
14 第一志望企業の選考段階	p. 19
15 第一志望企業の従業員規模・業界	p. 20
16 “記念受験”企業の従業員規模・業界	p. 21
17 “練習受験”企業の従業員規模・業界	p. 22
18 身につけている社会人基礎力	p. 23
19 就職活動を継続している理由	p. 25
20 就職活動終了見込み時期	p. 26

調査概要

調査目的

2017年5月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

調査対象

2018年3月卒業予定で、一般企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

調査方法

インターネット調査

調査期間

2017年5月1日～8日

有効回答

668名

「JOBRESS 新卒」登録学生（336名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（332名）

※本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。

※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

※本調査で言う「内定」には、「内々定」も含んでいます。

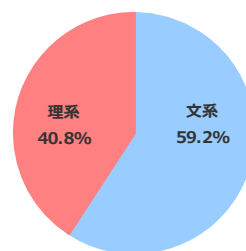
居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	31	4.6
関東地方	261	39.1
北陸・甲信越地方	22	3.3
東海地方	39	5.8
近畿地方	253	37.9
中国地方	26	3.9
四国地方	7	1.0
九州地方	29	4.3
合 計	668	100.0

専 攻	回答数	(%)
文系	457	68.4
理系	211	31.6
合 計	668	100.0

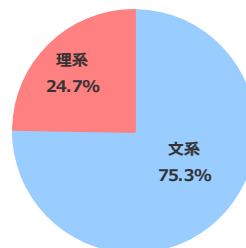
所属サークル	回答数	(%)
文化系	224	33.5
体育会系	155	23.2
イベント系	58	8.7
無所属	231	34.6
合 計	668	100.0

性 別	回答数	(%)
男性	284	42.5
女性	384	57.5
合 計	668	100.0

男性



女性



就職活動の進捗状況

学生に、2017年5月1日時点の就職活動の＜主な活動＞について聞くと、「面接・試験段階」と回答した学生が最も多く52.4%に上った。次点は「内定獲得／就活継続段階」で22.6%だった。前年調査（「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2016年5月1日状況」、以下同）や広報活動解禁が3月になった前々年調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2015年5月1日状況」、以下同）と比較すると、この時期の「エントリー活動段階」の学生の割合は年々減少しており、「面接・試験段階」以降の学生の割合が増加している（図1.1）。

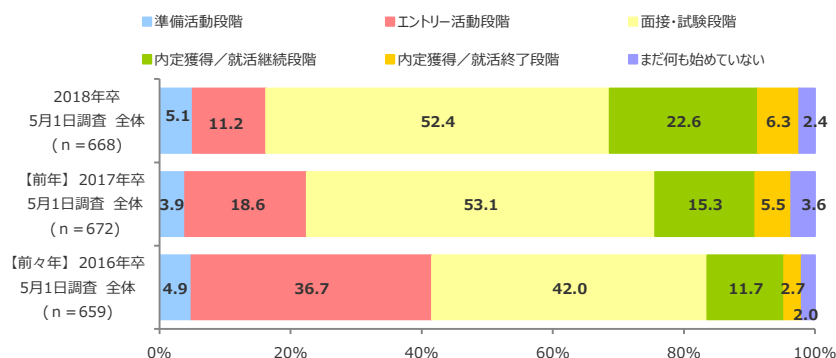
また、＜主な活動＞と＜最も選考が進んでいる企業の状況（※）＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。「準備活動段階」は、調査対象の全学生のうち97.6%、「エントリー活動段階」93.0%、「面接・試験段階」86.7%、「内定獲得段階」（「内定獲得／就活継続段階」と「内定獲得／就活終了段階」の計。「内定獲得率」と同義）31.0%となっている。

前年調査や前々年調査と比較すると、「面接・試験段階」と「内定獲得段階」に進んでいる学生の割合は年々高くなっている。特に、「内定獲得段階」では、前年調査に比べて7.8ポイントも増加していた（図1.2）。

各活動ステータスに到達した学生の割合を属性別に見ると、大企業志向（図3.1参照、以下同）の学生は、「面接・試験段階」への到達率が特に高く、進捗が早いようだ（表1）。

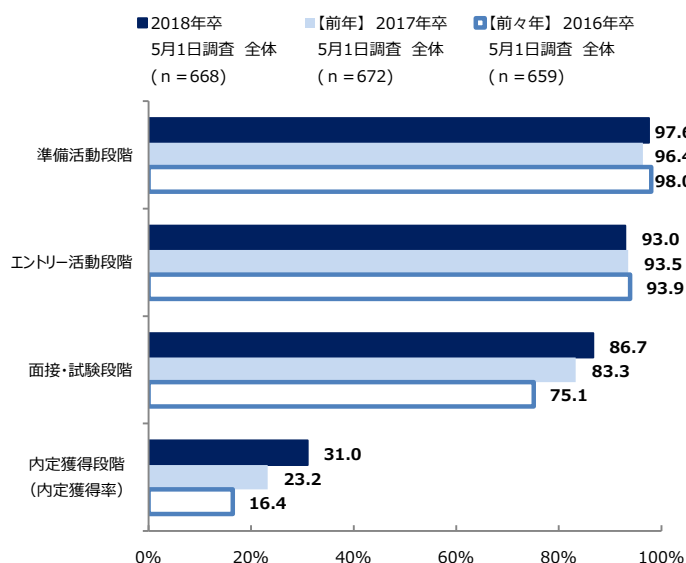
※ 最も選考が進んでいる企業の状況：＜主な活動＞において、「内定獲得／就活終了段階」または「まだ何も始めていない」以外を回答した学生（n = 459）に聴取。「準備活動段階」6.8%、「エントリー活動段階」9.2%、「面接・試験段階」81.0%、「内定獲得／就活継続段階」3.1%となっている。

【図1.1】現在の就職活動のステータス：＜主な活動＞：前年調査、前々年調査との比較



- ◆準備活動段階
就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階
- ◆エントリー活動段階
説明会やエントリーシート作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階
- ◆面接・試験段階
面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階
- ◆内定獲得／就活継続段階
1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階
- ◆内定獲得／就活終了段階
1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.2】各活動ステータスに到達した学生の割合：前年調査、前々年調査との比較



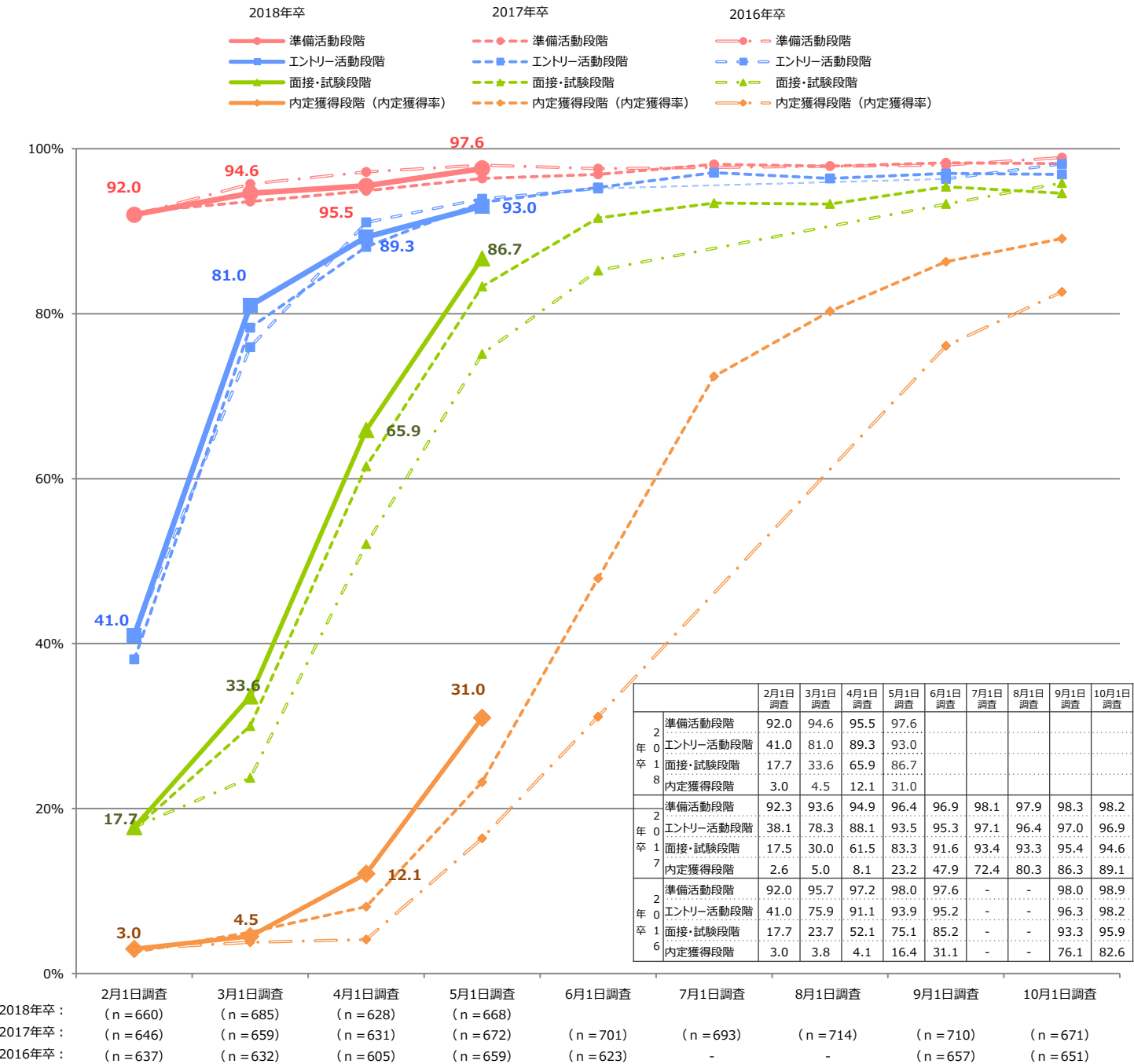
【表1】各活動ステータスに到達した学生の割合：属性別

		準備活動段階	エントリー活動段階	面接・試験段階	内定獲得段階 (内定獲得率)
		(%)	(%)	(%)	(%)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n = 668)		97.6	93.0	86.7	31.0
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n = 672)		96.4	93.5	83.3	23.2
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n = 659)		98.0	93.9	75.1	16.4
男女別	男性 (n = 284)	97.2	92.3	84.2	32.4
	女性 (n = 384)	97.9	93.5	88.5	29.9
文理別	文系 (n = 457)	97.6	93.9	87.7	30.6
	理系 (n = 211)	97.6	91.0	84.4	31.8
対する企業規模に別	大企業志向 (n = 338)	99.7	96.4	91.7	31.7
	中小企業志向 (n = 182)	97.3	92.9	85.2	30.8
	企業の規模は全く意識していない (n = 148)	93.2	85.1	77.0	29.7
就活姿勢別	積極的 (n = 448)	99.3	98.0	95.8	37.9
	消極的 (n = 220)	94.1	82.7	68.2	16.8

各活動ステータスに到達した学生の割合を、時系列で過去の調査と比較した。4月1日から5月1日にかけての増加幅は、「準備活動段階」2.1ポイント、「エントリー活動段階」3.7ポイント、「面接・試験段階」20.8ポイント、「内定獲得段階」18.9ポイントだった。4月に入ってから、「面接・試験段階」と「内定獲得段階」到達者が一気に増加している。

また、過去の調査と比較すると、「エントリー活動段階」の前月からの増加幅は、前年・前々年とほぼ同程度だったにもかかわらず、「面接・試験段階」「内定獲得段階」到達者の前月からの増加幅は、年々大きくなっており、2017年卒学生よりも早いペースで就職活動が進んでいることがわかる（図1.3）。

【図1.3】 各活動ステータスに到達した学生の割合：時系列、前年調査、前々年調査との比較



内定獲得状況

「図1.2 各活動ステータスに到達した学生の割合」から、学生の内定獲得状況を見た。

全体では、「内定あり」31.0%、「内定なし」69.0%となった。過去の調査と比較すると、「内定あり」の割合は年々増加しており、前々年調査の約2倍となっている（図2.1）。

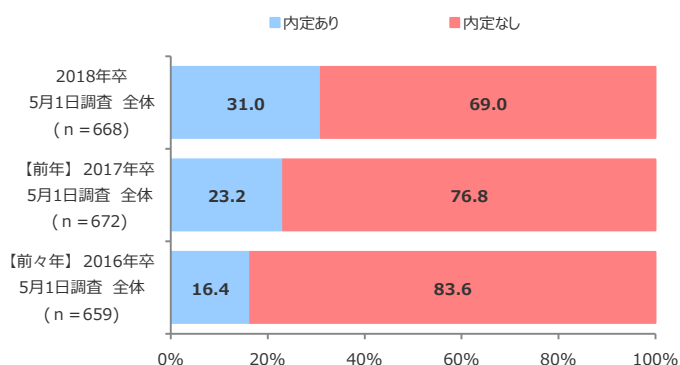
男女別に見ると、「内定あり」の学生の割合は、男性で32.4%となり、女性の29.9%よりもやや高い（図2.2）。

文理別に見ると、理系の方が文系よりも「内定あり」の学生の割合が1.2ポイント高くなっていた（図2.3）。

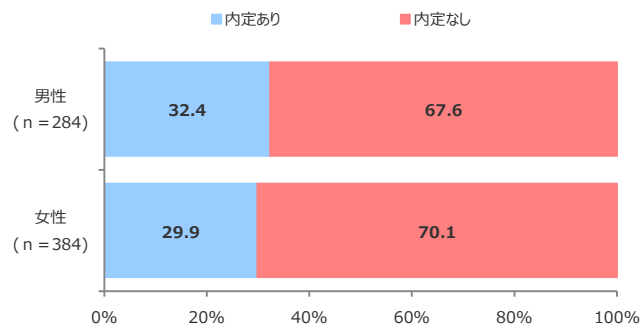
企業規模に対する志向別に見ると、大企業志向の学生はその他の学生よりも「内定あり」の割合が高い（図2.4）。

内定を獲得した学生に、獲得社数を聞くと「1社」64.7%、「2社」20.3%、「3社以上」15.0%となり、複数の内定を獲得している学生が35.3%に達している。平均は1.6社で、年々増加傾向にある（表2）。

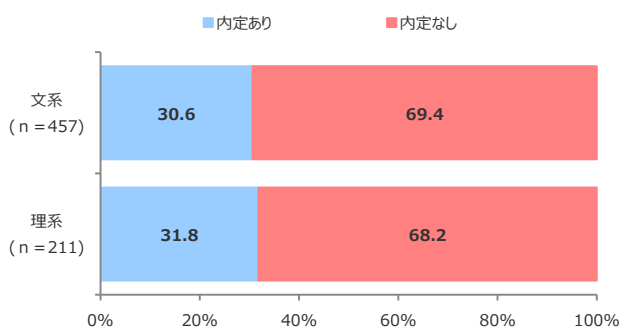
【図2.1】内定獲得状況：前年調査、前々年調査との比較



【図2.2】内定獲得状況：男女別



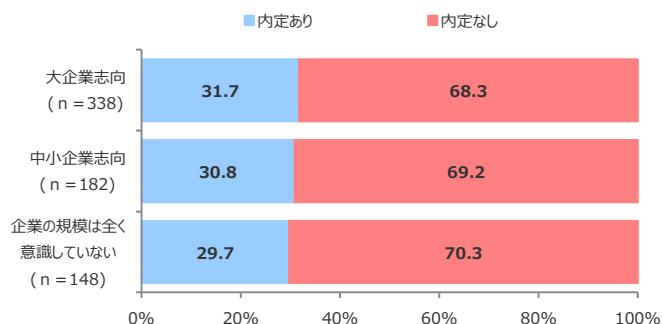
【図2.3】内定獲得状況：文理別



【表2】内定獲得社数：属性別

		1社	2社	3社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(社)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n = 207)		64.7	20.3	15.0	1.6
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n = 156)		68.6	18.6	12.8	1.5
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n = 108)		70.4	20.4	9.3	1.4
男女別	男性 (n = 92)	63.0	21.7	15.2	1.7
	女性 (n = 115)	66.1	19.1	14.8	1.6
文理別	文系 (n = 140)	64.3	20.7	15.0	1.6
	理系 (n = 67)	65.7	19.4	14.9	1.7
対企業規模に対する志向別	大企業志向 (n = 107)	66.4	19.6	14.0	1.5
	中小企業志向 (n = 56)	64.3	19.6	16.1	1.7
	企業の規模は全く意識していない (n = 44)	61.4	22.7	15.9	1.8
就活姿勢別	積極的 (n = 170)	61.8	21.2	17.1	1.7
	消極的 (n = 37)	78.4	16.2	5.4	1.3

【図2.4】内定獲得状況：企業規模に対する志向別

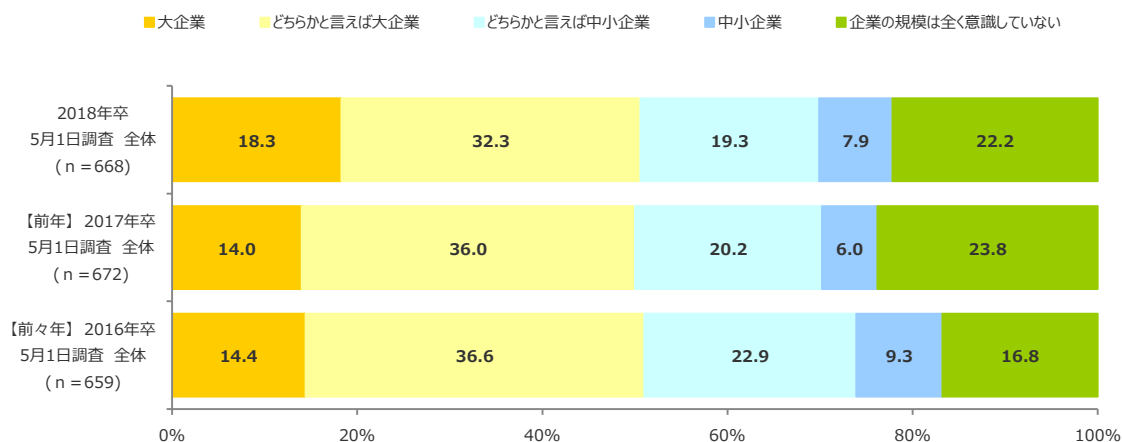


企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞くと、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答（以下、大企業志向）が50.6%に上った。「中小企業」と「どちらかと言えば中小企業」を合わせた回答（以下、中小企業志向）は27.2%、「企業の規模は全く意識していない」学生は22.2%だった（図3）。

属性別では、男女別で見ると、男性は「大企業志向」の割合が55.6%と、女性（46.9%）よりも8.7ポイント高い。反面、女性は男性よりも「中小企業志向」の割合が高く、14.9ポイントの差となっている。就活取組姿勢別（「図4.2 参照」）で見ると、「積極的」と回答した学生は「大企業志向」の者が多く、56.9%を占めている（表3）。

【図3】企業規模に対する志向：前年調査、前々年調査との比較



【表3】企業規模に対する志向：属性別

		大企業	どちらかと言えば大企業	どちらかと言えば中小企業	中小企業	企業の規模は全く意識していない	大企業志向・計	中小企業志向・計
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n = 668)		18.3	32.3	19.3	7.9	22.2	50.6	27.2
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n = 672)		14.0	36.0	20.2	6.0	23.8	50.0	26.2
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n = 659)		14.4	36.6	22.9	9.3	16.8	51.0	32.2
男女別	男性 (n = 284)	24.6	31.0	12.7	6.0	25.7	55.6	18.7
	女性 (n = 384)	13.5	33.3	24.2	9.4	19.5	46.9	33.6
文理別	文系 (n = 457)	16.2	33.0	19.9	8.5	22.3	49.2	28.4
	理系 (n = 211)	22.7	30.8	18.0	6.6	21.8	53.6	24.6
状況別	内定あり (n = 207)	22.7	29.0	16.9	10.1	21.3	51.7	27.1
	内定なし (n = 461)	16.3	33.8	20.4	6.9	22.6	50.1	27.3
就活取組姿勢別	積極的 (n = 448)	21.9	35.0	19.2	6.3	17.6	56.9	25.4
	消極的 (n = 220)	10.9	26.8	19.5	11.4	31.4	37.7	30.9

自分のタイプ

学生に、「周りからの評価の高さ」と「就職活動の取組姿勢」に関し、自分のタイプに近いものを聞いた。

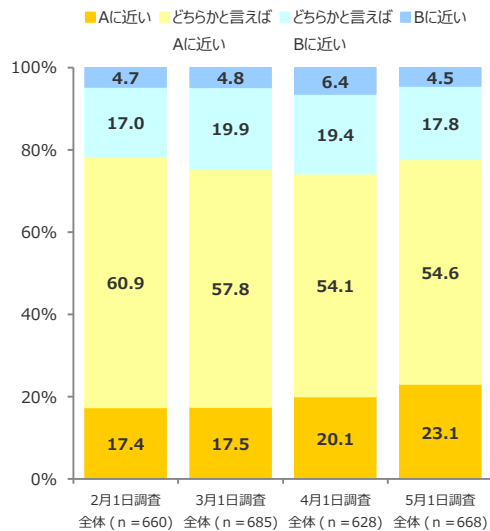
「周りからの評価の高さ」に関し、A「周りからの評価は高い方だ」とB「周りからの評価は低い方だ」のどちらに近いかを聞いた。結果は、周りからの評価が高い（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）と感じている学生が77.7%、周りからの評価が低い（「Bに近い」と「どちらかと言えばBに近い」の合計、以下同）と感じている学生は22.3%だった。企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生が、内定獲得状況別では「内定あり」の学生が、周りからの評価が高いと自信を持っている割合が高いようだ（図4.1、表4.1）。

「就職活動の取組姿勢」に関し、A「積極的に就職活動をしている」とB「あまり積極的に就職活動をしていない」のどちらに近いかを聞くと、「Aに近い」25.7%、「どちらかと言えばAに近い」41.3%となり、就職活動の取組姿勢が積極的（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）な学生が67.1%となった。

属性別に見ると、企業規模に対する志向が「大企業志向」の学生では、「積極的」な学生が75.4%に上った。内定獲得状況別では、「内定あり」の学生で「積極的」と回答した学生が82.1%と、特に高くなっている（図4.2、表4.2）。

A. 周りからの評価は高い方だ ⇔ B. 周りからの評価は低い方だ

【図4.1】自分のタイプ＜周りからの評価の高さ＞：時系列

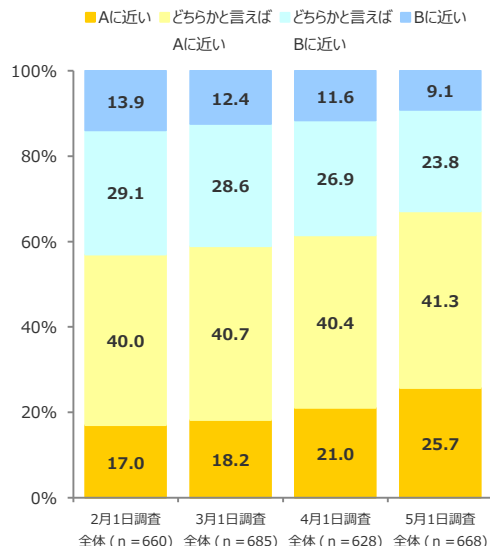


【表4.1】自分のタイプ＜周りからの評価の高さ＞：属性別

		Aに近い (%)	Aに近い に え ち よ う ば い か と	Bに近い に え ち よ う ば い か と	Bに近い (%)	評価 り が か 高 い の (%)	評価 り が か 低 い の (%)
全体 (n = 668)		23.1	54.6	17.8	4.5	77.7	22.3
男女別	男性 (n = 284)	27.5	43.7	23.6	5.3	71.1	28.9
	女性 (n = 384)	19.8	62.8	13.5	3.9	82.6	17.4
文理別	文系 (n = 457)	22.8	55.1	17.5	4.6	77.9	22.1
	理系 (n = 211)	23.7	53.6	18.5	4.3	77.3	22.7
企業志向別	大企業志向 (n = 338)	28.7	56.5	13.0	1.8	85.2	14.8
	中小企業志向 (n = 182)	17.6	57.7	20.3	4.4	75.3	24.7
	企業の規模は全く意識していない (n = 148)	16.9	46.6	25.7	10.8	63.5	36.5
状況別	内定あり (n = 207)	30.0	56.5	12.6	1.0	86.5	13.5
	内定なし (n = 461)	20.0	53.8	20.2	6.1	73.8	26.2

A. 積極的に就職活動をしている ⇔ B. あまり積極的に就職活動をしていない

【図4.2】自分のタイプ＜就職活動取組姿勢＞：時系列



【表4.2】自分のタイプ＜就職活動取組姿勢＞：属性別

		Aに近い (%)	Aに近い に え ち よ う ば い か と	Bに近い に え ち よ う ば い か と	Bに近い (%)	積極 的 (%)	消極 的 (%)
全体 (n = 668)		25.7	41.3	23.8	9.1	67.1	32.9
男女別	男性 (n = 284)	29.6	36.6	23.2	10.6	66.2	33.8
	女性 (n = 384)	22.9	44.8	24.2	8.1	67.7	32.3
文理別	文系 (n = 457)	26.5	41.8	22.5	9.2	68.3	31.7
	理系 (n = 211)	24.2	40.3	26.5	9.0	64.5	35.5
企業志向別	大企業志向 (n = 338)	32.0	43.5	19.8	4.7	75.4	24.6
	中小企業志向 (n = 182)	19.2	43.4	28.6	8.8	62.6	37.4
	企業の規模は全く意識していない (n = 148)	19.6	33.8	27.0	19.6	53.4	46.6
状況別	内定あり (n = 207)	43.0	39.1	14.0	3.9	82.1	17.9
	内定なし (n = 461)	18.0	42.3	28.2	11.5	60.3	39.7

1日の活動時間

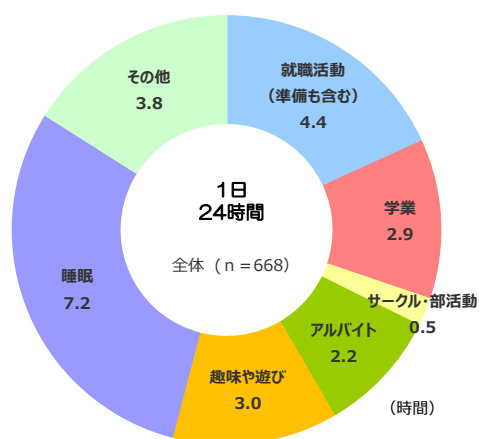
学生に、現在、1日のうち「就職活動（準備も含む）」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動（準備も含む）」4.4時間、「学業」2.9時間、「サークル・部活動」0.5時間、「アルバイト」2.2時間、「趣味や遊び」3.0時間、「睡眠」7.2時間となった（図5.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が4.4時間となり、文系の2倍となっている。そのためか、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は文系よりも少ない。

内定獲得状況別で見ると、「内定あり」の学生は、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間が3.8時間で「内定なし」の学生よりも0.8時間少なくなっており、活動が落ち着いてきたようだ（表5）。

前回調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2017年4月1日状況」、以下同）から、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は0.6時間減少した。選考解禁の6月を前に、早くも就職活動のピークが過ぎたことがうかがえる（図5.2）。

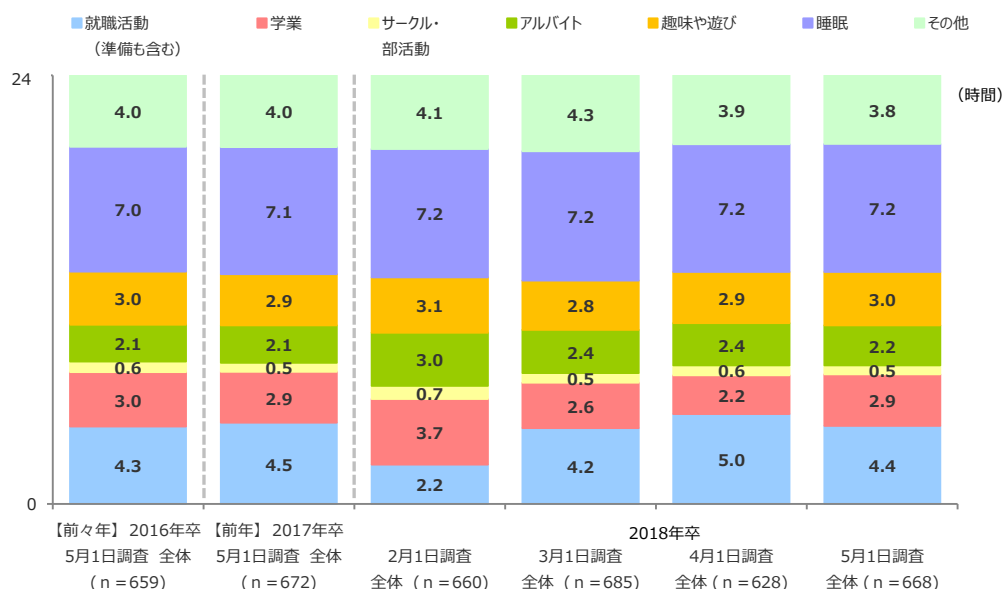
【図5.1】1日の活動時間／平均



【表5】1日の活動時間／平均：属性別

		(時間)						
		就職活動 (準備も含む)	学業	部活動 サークル・	アルバイト	趣味や遊び	睡眠	その他
全体 (n=668)		4.4	2.9	0.5	2.2	3.0	7.2	3.8
男女別	男性 (n=284)	4.4	3.2	0.6	1.9	3.1	7.3	3.7
	女性 (n=384)	4.4	2.7	0.5	2.5	2.9	7.1	4.0
文理別	文系 (n=457)	4.7	2.2	0.5	2.5	3.2	7.2	3.7
	理系 (n=211)	3.8	4.4	0.5	1.7	2.6	7.0	4.1
対する企業規模志向別	大企業志向 (n=338)	4.9	2.8	0.6	2.0	2.7	7.3	3.8
	中小企業志向 (n=182)	3.8	2.8	0.7	2.6	3.2	7.1	4.0
	企業の規模は全く意識していない (n=148)	3.8	3.3	0.3	2.4	3.5	7.1	3.7
状況別	内定あり (n=207)	3.8	2.7	0.5	2.6	3.2	7.4	3.7
	内定なし (n=461)	4.6	3.0	0.5	2.1	2.9	7.1	3.9

【図5.2】1日の活動時間／平均：時系列、前年調査、前々年調査との比較



会社説明会参加回数

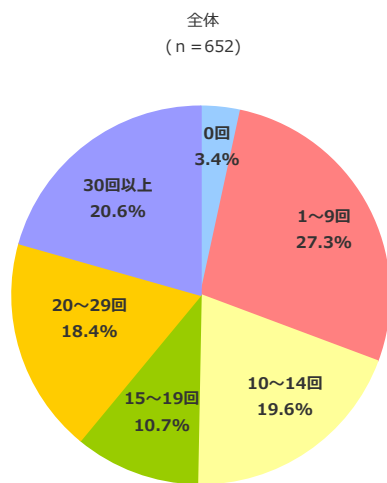
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、5月1日までに参加した会社説明会の回数を聞いた。結果は、多い順に「1～9回」27.3%、「30回以上」20.6%、「10～14回」19.6%となっている（図6.1）。

平均参加回数は17.8回となっており、前年調査よりも1.3回少なくなっている。

属性別に見ると、男女別では男性よりも女性で、文理別では理系よりも文系で平均参加回数が多い。また、企業規模に対する志向別では、「大企業志向」の学生で他の学生よりも平均参加回数が多くなっており、20回を超えている。また、内定獲得状況別では、「内定あり」の学生が平均21.1回なのに対し、「内定なし」の学生は平均16.2回となっており、差が生じている（表6）。

時系列で見ると、前回調査の平均14.2回から3.6回の増加となっている（図6.2）。

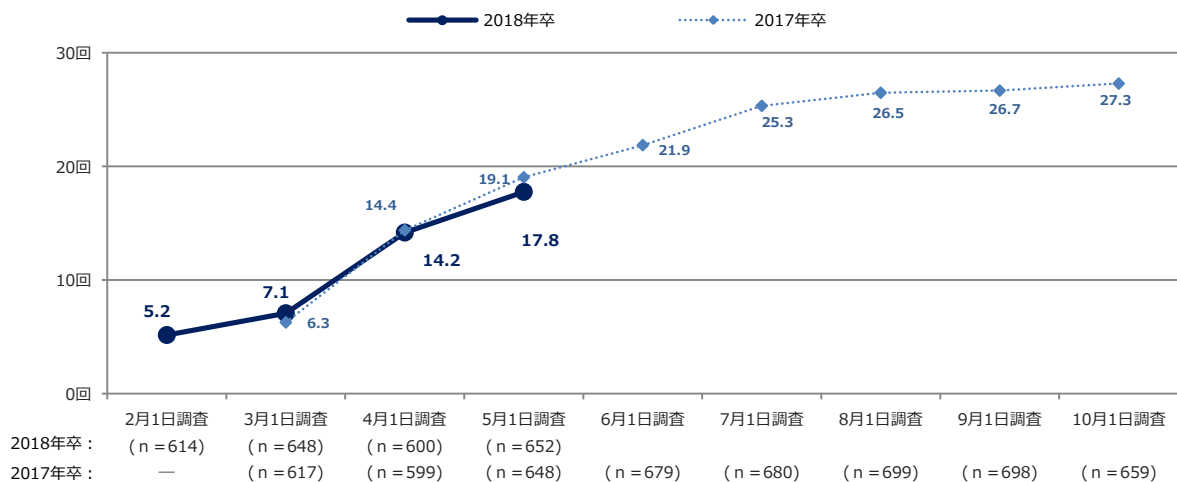
【図6.1】会社説明会参加回数



【表6】会社説明会参加回数：属性別

		0回	1～9回	10～14回	15～19回	20～29回	30回以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(回)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=652)		3.4	27.3	19.6	10.7	18.4	20.6	17.8
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=648)		1.5	25.0	16.8	11.0	19.9	25.8	19.1
男女別	男性 (n=276)	3.3	31.2	19.6	7.6	19.9	18.5	17.2
	女性 (n=376)	3.5	24.5	19.7	13.0	17.3	22.1	18.2
文理別	文系 (n=446)	2.9	22.4	18.6	11.0	21.1	24.0	19.8
	理系 (n=206)	4.4	37.9	21.8	10.2	12.6	13.1	13.4
対する企業規模に	大企業志向 (n=337)	1.5	27.3	15.1	10.1	19.9	26.1	20.4
	中小企業志向 (n=177)	4.5	22.6	27.7	11.9	18.6	14.7	15.5
	企業の規模は全く意識していない (n=138)	6.5	33.3	20.3	10.9	14.5	14.5	14.3
内定獲得状況別	内定あり (n=207)	1.9	19.3	18.4	14.0	18.8	27.5	21.1
	内定なし (n=445)	4.0	31.0	20.2	9.2	18.2	17.3	16.2

【図6.2】会社説明会参加回数／平均：時系列、前年調査との比較



応募企業数

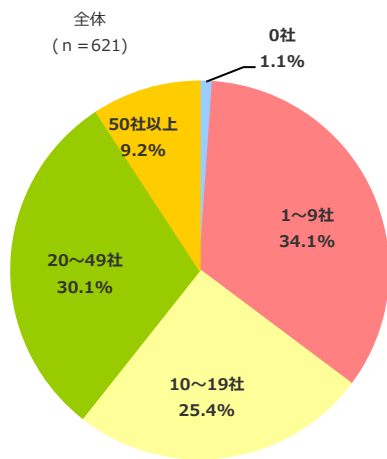
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、5月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。多かった順に「1～9社」34.1%、「20～49社」30.1%、「10～19社」25.4%となっている（図7.1）。

応募企業数の平均は20.3社で、前年よりも1.3社減少している。

属性別では、企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生が平均24.9社なのに対し、「中小企業志向」の学生は平均14.7社となっており、応募企業数に10社以上の差があった（表7）。

時系列で見ると、前回調査の平均17.9社から2.4社の増加となっている（図7.2）。

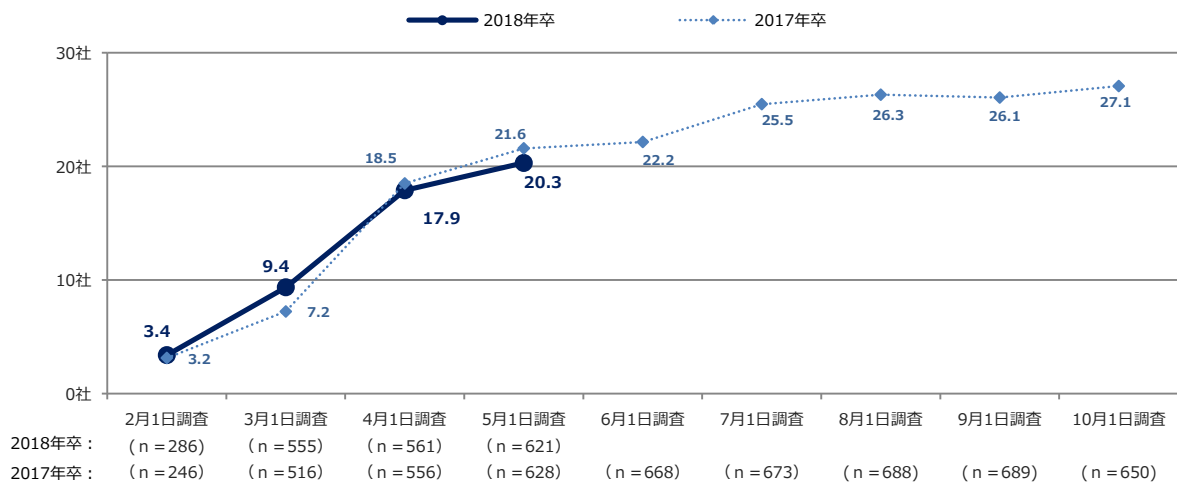
【図7.1】選考に応募した企業数



【表7】選考に応募した企業数：属性別

		0社	1～9社	10～19社	20～49社	50社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=621)		1.1	34.1	25.4	30.1	9.2	20.3
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=628)		1.4	28.5	27.4	31.8	10.8	21.6
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n=619)		3.6	32.8	20.4	29.9	13.4	21.5
男女別	男性 (n=262)	1.1	37.8	25.6	27.1	8.4	20.3
	女性 (n=359)	1.1	31.5	25.3	32.3	9.7	20.3
文理別	文系 (n=429)	0.9	28.7	25.2	35.2	10.0	20.8
	理系 (n=192)	1.6	46.4	26.0	18.8	7.3	19.3
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=326)	0.3	26.7	25.2	36.2	11.7	24.9
	中小企業志向 (n=169)	1.2	46.7	26.0	20.1	5.9	14.7
	企業の規模は全く意識していない (n=126)	3.2	36.5	25.4	27.8	7.1	16.1
内定獲得状況別	内定あり (n=207)	0.0	32.4	27.5	29.5	10.6	19.7
	内定なし (n=414)	1.7	35.0	24.4	30.4	8.5	20.6

【図7.2】選考に応募した企業数／平均：時系列、前年調査との比較



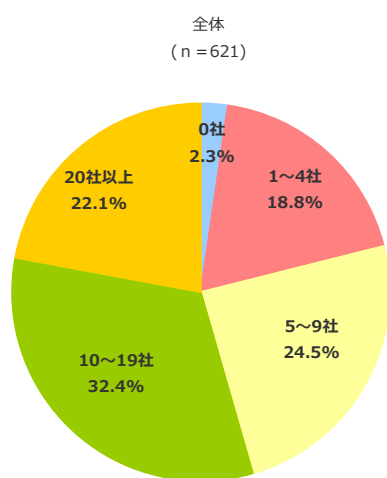
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、5月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く、32.4%だった。以降は「5～9社」24.5%、「20社以上」22.1%となっている（図8.1）。

エントリーシート・履歴書提出企業数の平均は12.3社だった。

属性別に見ると、文理別では理系よりも文系、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている（表8）。

時系列で見ると、前回調査の平均7.7社から4.6社増加している（図8.2）。

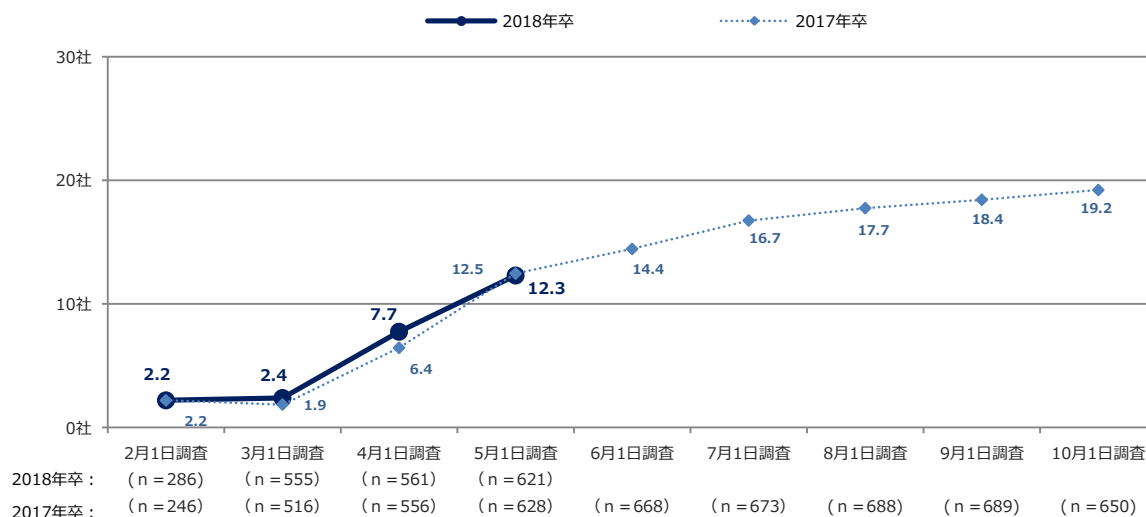
【図8.1】エントリーシート・履歴書提出企業数



【表8】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=621)		2.3	18.8	24.5	32.4	22.1	12.3
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=628)		2.2	18.0	22.1	35.4	22.3	12.5
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n=619)		5.0	27.8	24.4	29.2	13.6	9.0
男女別	男性 (n=262)	3.1	20.2	25.6	29.0	22.1	12.4
	女性 (n=359)	1.7	17.8	23.7	34.8	22.0	12.2
文理別	文系 (n=429)	2.3	16.1	21.7	36.4	23.5	12.9
	理系 (n=192)	2.1	25.0	30.7	23.4	18.8	10.9
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=326)	0.3	14.7	20.2	35.9	28.8	14.6
	中小企業志向 (n=169)	3.6	23.7	33.7	26.0	13.0	9.2
	企業の規模は全く意識していない (n=126)	5.6	23.0	23.0	31.7	16.7	10.6
状況別	内定あり (n=207)	0.0	17.4	23.2	36.2	23.2	13.2
	内定なし (n=414)	3.4	19.6	25.1	30.4	21.5	11.8

【図8.2】エントリーシート・履歴書提出企業数／平均：時系列、前年調査との比較



書類選考通過率

「8 エントリーシート・履歴書提出企業数」において、「1社」以上と回答した学生に、説明会参加や企業情報を収集するためではなく、「書類選考」としてエントリーシートや履歴書を提出した企業数と、その中で書類選考を通過した企業数を聞いた。

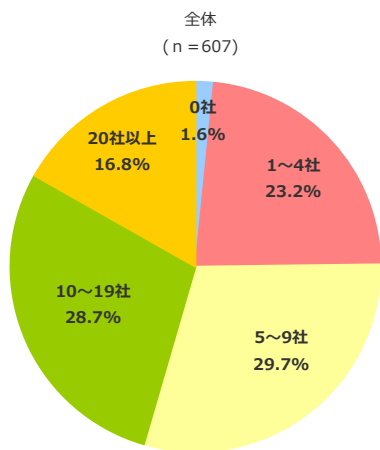
まず、書類選考の受験社数は、多い順に「5～9社」29.7%、「10～19社」28.7%だった（図9.1）。

平均社数は10.7社で、文系や大企業志向、就活に積極的な学生、「内定あり」の学生で平均社数が多い（表9.1）。

書類選考受験社数が「1社」以上だった学生に、そのうち選考を通過した社数を聞いた。多い順に「1～4社」34.2%、「5～9社」31.5%となっており（図9.2）、平均は7.4社だった。大企業志向の学生や就活に積極的な学生、「内定あり」の学生では、平均が8社を超えている。

書類選考通過社数から書類選考受験社数を除して「書類選考通過率」を算出すると、72.1%だった（表9.2）。

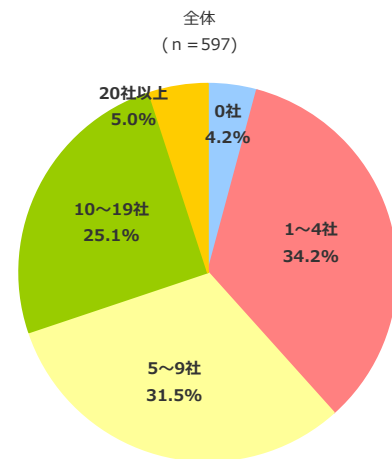
【図9.1】書類選考受験社数



【表9.1】書類選考受験社数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=607)		1.6	23.2	29.7	28.7	16.8	10.7
男女別	男性 (n=254)	0.8	23.6	31.5	27.2	16.9	10.6
	女性 (n=353)	2.3	22.9	28.3	29.7	16.7	10.8
文理別	文系 (n=419)	1.9	21.7	28.2	30.1	18.1	11.0
	理系 (n=188)	1.1	26.6	33.0	25.5	13.8	9.9
対する企業志向別	大企業志向 (n=325)	0.6	17.8	25.5	32.3	23.7	13.1
	中小企業志向 (n=163)	2.5	31.9	38.0	20.2	7.4	7.4
	企業の規模は全く意識していない (n=119)	3.4	26.1	29.4	30.3	10.9	8.5
状況別	内定あり (n=207)	2.4	21.7	27.5	31.4	16.9	10.8
	内定なし (n=400)	1.3	24.0	30.8	27.3	16.8	10.6
就活姿勢別	積極的 (n=437)	1.1	14.0	32.3	31.6	21.1	12.3
	消極的 (n=170)	2.9	47.1	22.9	21.2	5.9	6.6

【図9.2】書類選考通過社数



【表9.2】書類選考通過社数と書類選考通過率：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20社以上	平均	書類選考通過率 (%)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)	(%)
全体 (n=597)		4.2	34.2	31.5	25.1	5.0	7.4	72.1
男女別	男性 (n=252)	3.2	31.3	36.1	24.2	5.2	7.3	75.6
	女性 (n=345)	4.9	36.2	28.1	25.8	4.9	7.4	69.5
文理別	文系 (n=411)	4.1	32.1	32.6	26.3	4.9	7.5	71.0
	理系 (n=186)	4.3	38.7	29.0	22.6	5.4	7.0	74.3
対する企業志向別	大企業志向 (n=323)	3.4	27.6	31.3	30.7	7.1	8.5	70.4
	中小企業志向 (n=159)	4.4	47.2	29.6	17.6	1.3	5.6	74.8
	企業の規模は全く意識していない (n=115)	6.1	34.8	34.8	20.0	4.3	6.6	72.9
状況別	内定あり (n=202)	0.5	28.7	35.1	30.2	5.4	8.4	80.9
	内定なし (n=395)	6.1	37.0	29.6	22.5	4.8	6.8	67.5
就活姿勢別	積極的 (n=432)	2.3	25.0	35.4	31.0	6.3	8.5	73.4
	消極的 (n=165)	9.1	58.2	21.2	9.7	1.8	4.3	68.4

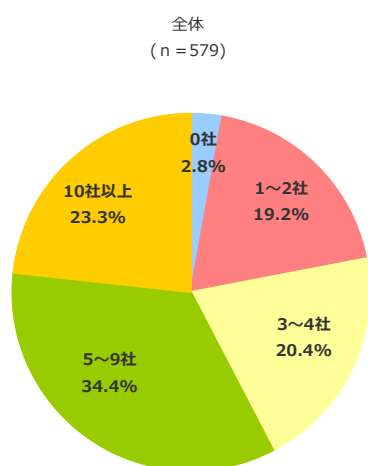
面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、5月1日まで面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「5～9社」と回答した学生が最も多く、34.4%だった（図10.1）。

平均社数は6.3社だった。属性別に見ると、男女別では女性よりも男性、文理別では理系より文系、企業規模に対する志向別では「企業の規模は全く意識していない」学生、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている（表10）。

時系列で見ると、前回調査の平均3.6社から2.7社の増加となり、3月から4月にかけての増加幅よりも大きくなった。とは言え、前年の傾向から大きな変化はないようだ（図10.2）。

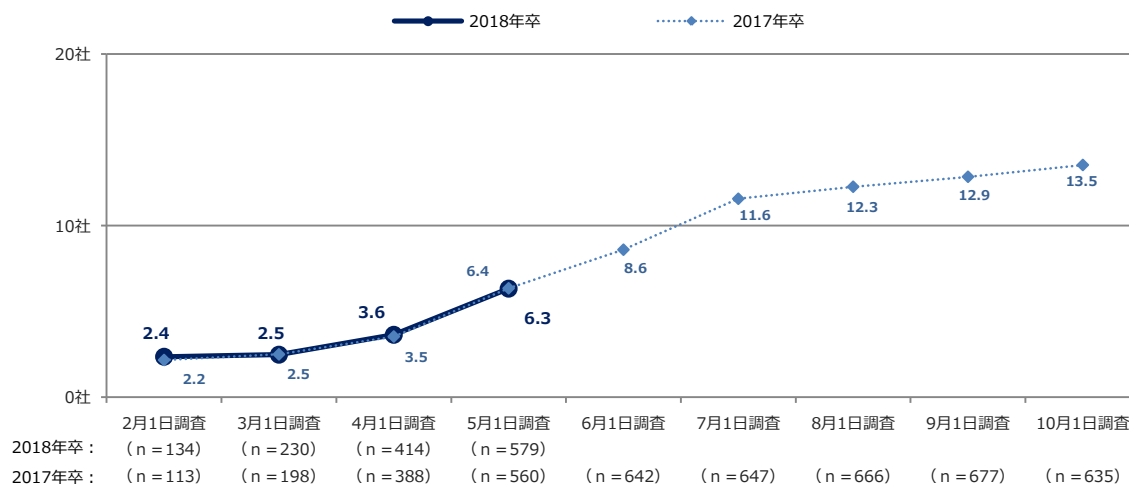
【図10.1】面接選考企業数



【表10】面接選考企業数：属性別

		0社	1~2社	3~4社	5~9社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=579)		2.8	19.2	20.4	34.4	23.3	6.3
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=560)		3.8	19.6	22.0	31.3	23.4	6.4
【前々年】2016年卒 5月1日調査 全体 (n=495)		7.3	30.1	22.6	27.9	12.1	4.5
男女別	男性 (n=239)	2.1	18.4	20.9	32.2	26.4	6.7
	女性 (n=340)	3.2	19.7	20.0	35.9	21.2	6.0
文理別	文系 (n=401)	2.7	17.2	19.2	36.4	24.4	6.5
	理系 (n=178)	2.8	23.6	23.0	29.8	20.8	5.9
対企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=310)	1.6	18.4	18.4	36.5	25.2	6.4
	中小企業志向 (n=155)	1.9	20.6	26.5	32.9	18.1	6.1
	企業の規模は全く意識していない (n=114)	7.0	19.3	17.5	30.7	25.4	6.5
状況別	内定あり (n=207)	0.0	15.0	17.4	37.7	30.0	7.7
	内定なし (n=372)	4.3	21.5	22.0	32.5	19.6	5.6

【図10.2】面接選考企業数／平均：時系列、前年調査との比較



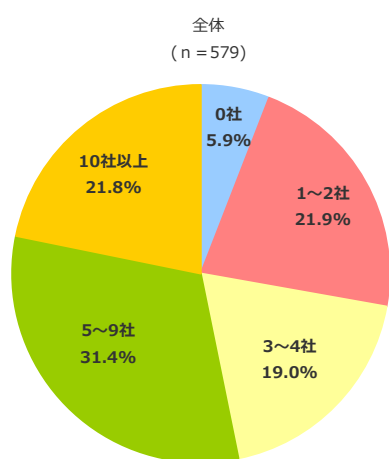
現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、就職活動を継続している学生に対し、5月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「5～9社」と回答した学生が最も多く、31.4%となっている（図11.1）。

平均は6.3社となっており、属性別に見ると、男女別では女性よりも男性、文理別では文系より理系、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生、内定獲得状況別では「内定あり」の学生で平均社数が多くなっている。（表11）。

時系列で見ると、前回調査の平均5.1社から1.2社の増加となった。前年調査とはほぼ同値となっており、増加の動きも同様の傾向となっている（図11.2）。

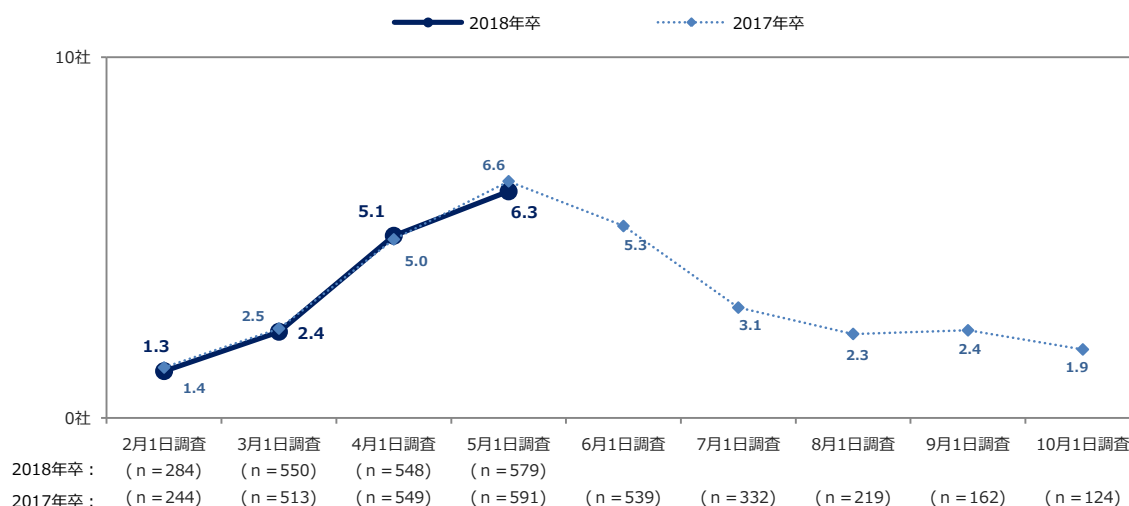
【図11.1】現在選考中の企業数



【表11】現在選考中の企業数：属性別

		0社	1~2社	3~4社	5~9社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=579)		5.9	21.9	19.0	31.4	21.8	6.3
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=591)		5.6	17.4	24.2	30.6	22.2	6.6
男女別	男性 (n=243)	7.0	18.9	18.9	30.5	24.7	6.7
	女性 (n=336)	5.1	24.1	19.0	32.1	19.6	6.0
文理別	文系 (n=407)	5.7	22.4	18.4	31.7	21.9	6.2
	理系 (n=172)	6.4	20.9	20.3	30.8	21.5	6.5
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=306)	2.9	14.7	16.7	35.9	29.7	7.9
	中小企業志向 (n=156)	5.8	29.5	26.3	28.2	10.3	4.5
	企業の規模は全く意識していない (n=117)	13.7	30.8	15.4	23.9	16.2	4.5
内定獲得状況別	内定あり (n=165)	4.8	13.3	22.4	35.8	23.6	6.6
	内定なし (n=414)	6.3	25.4	17.6	29.7	21.0	6.2

【図11.2】現在選考中の企業数／平均：時系列、前年調査との比較



企業への新たな応募予定（5月）

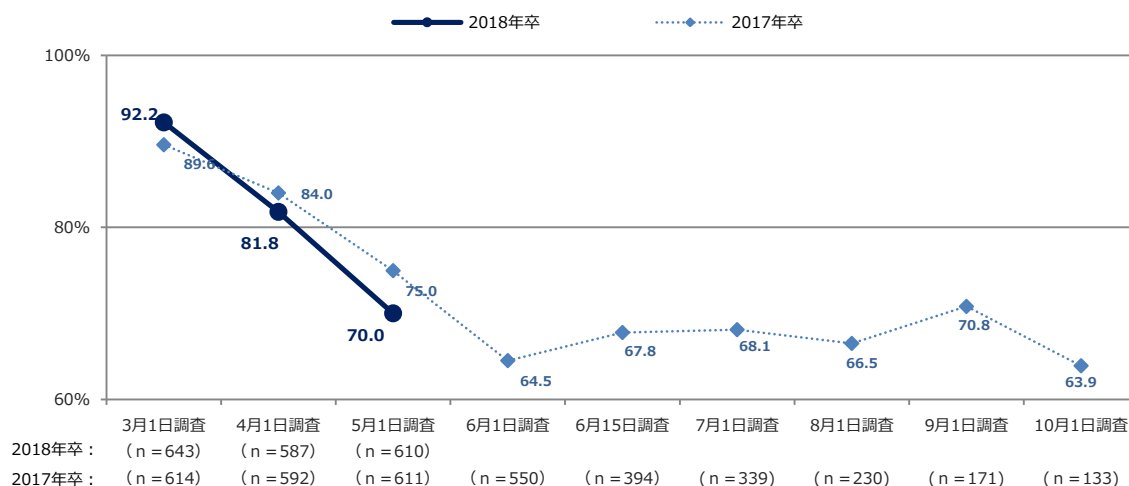
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」または「内定獲得／就活終了段階」を回答した学生を除いて、5月の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いたところ、「ある」と回答した学生が70.0%となった。

前年調査と比較すると、4月から5月にかけての減少幅が大きくなっていた（2018年卒：-11.8ポイント、2017年卒：-9.0ポイント）。前年に比べ就職活動の進捗が早く、順調に選考が進んでいる学生が多いことや、売り手市場の影響が推測される（図12.1）。

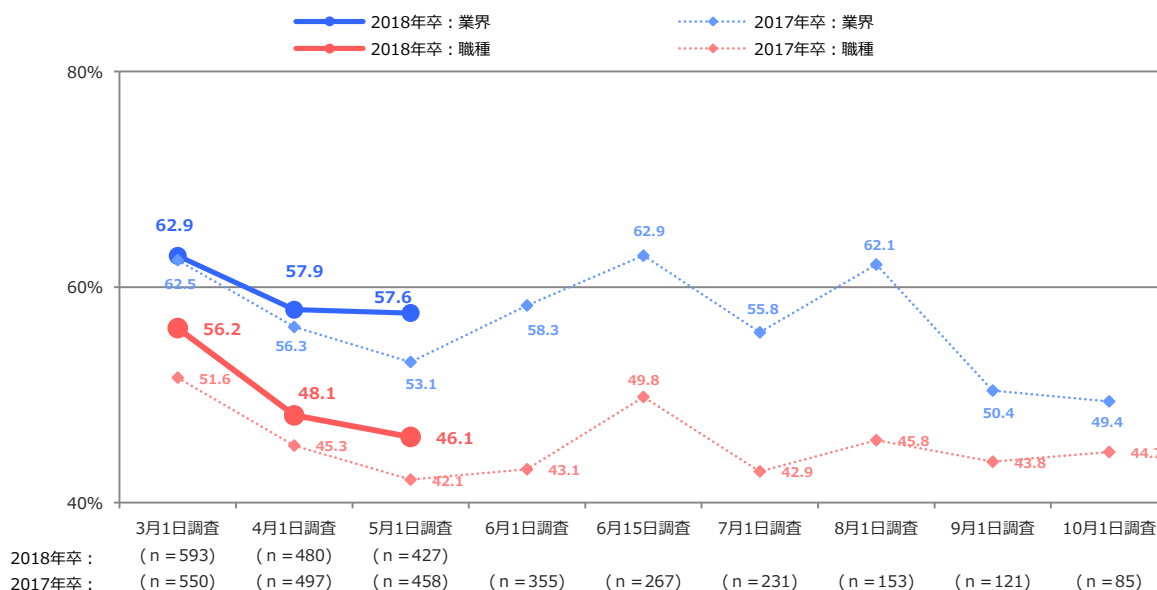
また、新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に対し、今まで「興味がなかった業界」や「興味がなかった職種」にも応募するかを聞いた。今まで「興味がなかった業界」に応募する予定が「ある」学生は57.6%、今まで「興味がなかった職種」では46.1%となった。新たな企業に目を向ける際には、「職種」よりも「業界」の視野を広げる学生が多いようだ。

時系列で見ると、「興味がなかった業界または職種」に応募予定が「ある」と回答した学生の割合は、前回調査から微減となった（図12.2）。

【図12.1】 今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列、前年調査との比較



【図12.2】 今まで興味がなかった“業界”“職種”に応募すると回答した学生の割合：時系列、前年調査との比較



応募時にチェックする情報と 選考過程で気になってくる情報

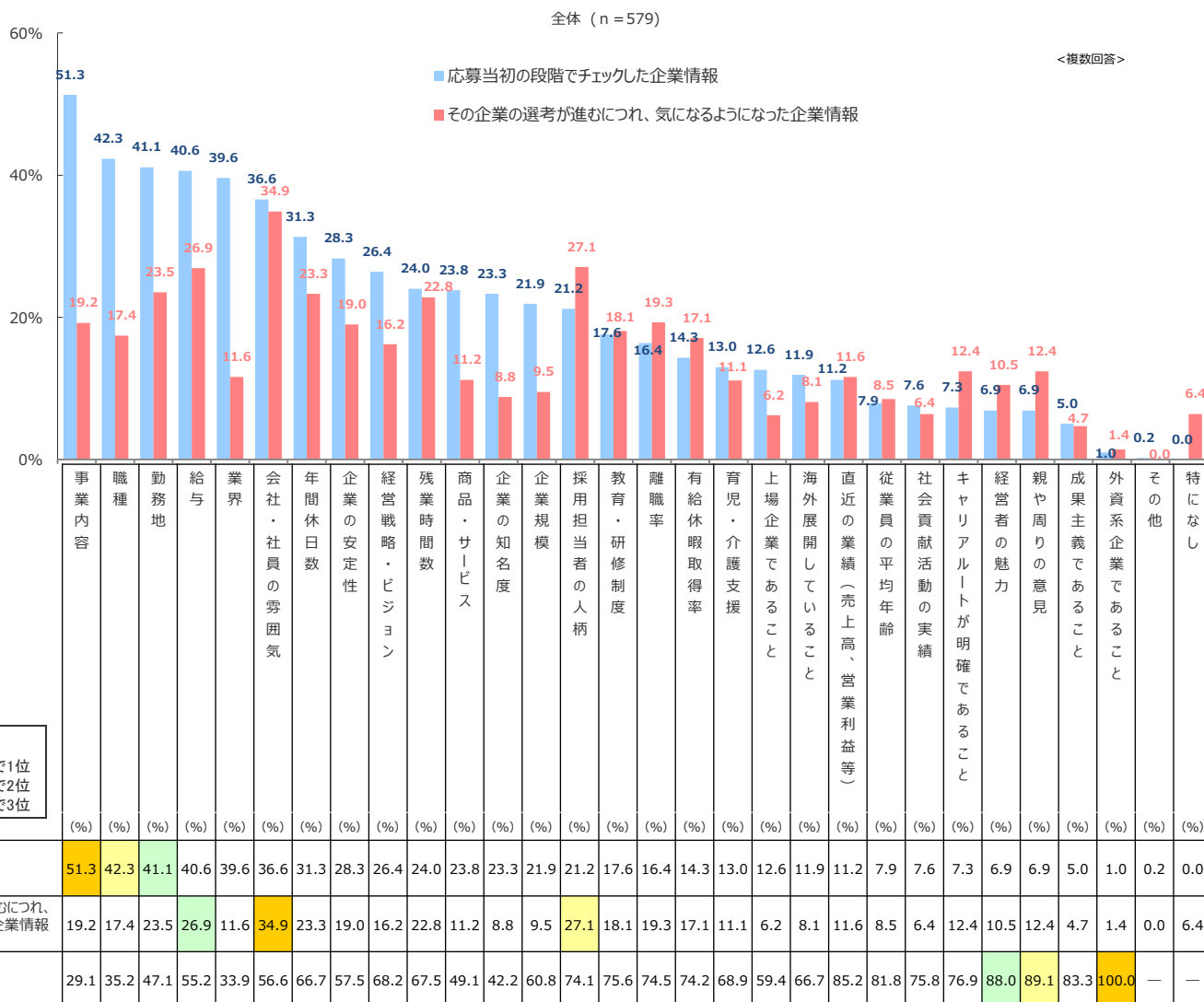
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、「応募当初の段階でチェックした企業情報」と「その企業の選考が進むにつれ、気になるようになった企業情報」について聞いた。

「応募当初の段階でチェックした企業情報」は、上位から「事業内容」51.3%、「職種」42.3%、「勤務地」41.1%、「給与」40.6%、「業界」39.6%だった。

「その企業の選考が進むにつれ、気になるようになった企業情報」は、上位から「会社・社員の雰囲気」34.9%、「採用担当者の人柄」27.1%、「給与」26.9%、「勤務地」23.5%、「年間休日数」23.3%となっている。

また、「その企業の選考が進むにつれ、気になるようになった企業情報」の各項目について、「応募当初の段階でチェックした企業情報」では回答しなかったが、「その企業の選考が進むにつれ、気になるようになった企業情報」では回答した（＝応募当初はチェックしなかったが、選考が進むにつれて初めて気になるようになった）学生の割合を“新規チェック率”として、集計した。新規チェック率が高かったのは、上位から「外資系企業であること」「親や周りの意見」「経営者の魅力」「直近の業績（売上高、営業利益等）」「成果主義であること」だった。選考が進む中で、その企業への興味が深まったり、入社をイメージしたりする機会が増えることで、新たな視点で企業の見極めをしていく学生もいるようだ（図13）。

【図13】応募当初にチェックした企業情報と選考過程で気になるようになった企業情報



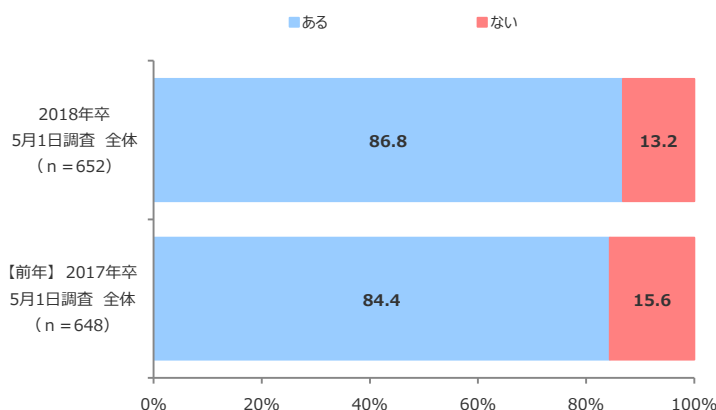
第一志望企業の選考段階

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、第一志望の企業があるかを聞き、現在の選考段階を聞いた。

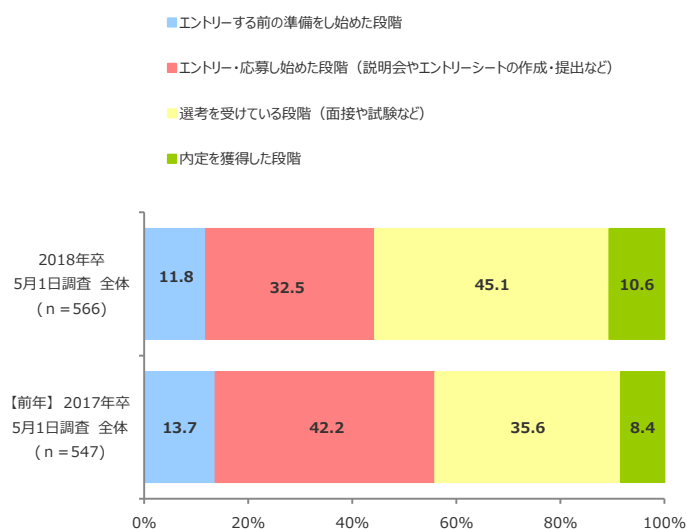
第一志望の企業が「ある」と回答した学生は86.8%だった（図14.1）。さらに、「ある」と回答した学生に、第一志望の企業の選考がどの段階に進んでいるかを聞くと、「選考を受けている段階（面接や試験など）」が最も多く、45.1%だった。前年調査と比較すると、「エントリー・応募し始めた段階（説明会や・エントリーシートの作成・提出など）」と回答した学生の割合が低く、その分「選考を受けている段階（面接や試験など）」が高くなっており、前年よりも選考が進んでいることがわかる（図14.2）。

属性別に見ると、内定獲得状況別では、「内定あり」の学生の32.4%は、第一志望の「内定を獲得した段階」と回答していた（表14）。

【図14.1】第一志望の企業はあるか：前年調査との比較



【図14.2】第一志望の企業の選考はどの段階か：前年調査との比較



【表14】第一志望の企業の選考はどの段階か：属性別

		準備をし始めた段階	エントリーする前の段階	エントリー・応募し始めた段階	選考を受けている段階	内定を獲得した段階
		(%)	(%)	(%)	(%)	
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=566)		11.8	32.5	45.1	10.6	
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=547)		13.7	42.2	35.6	8.4	
男女別	男性 (n=237)	11.8	31.6	46.0	10.5	
	女性 (n=329)	11.9	33.1	44.4	10.6	
文理別	文系 (n=383)	13.1	35.8	42.6	8.6	
	理系 (n=183)	9.3	25.7	50.3	14.8	
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=313)	11.5	36.1	44.1	8.3	
	中小企業志向 (n=151)	11.3	29.1	45.0	14.6	
	企業の規模は全く意識していない (n=102)	13.7	26.5	48.0	11.8	
内定獲得状況別	内定あり (n=185)	5.4	25.9	36.2	32.4	
	内定なし (n=381)	15.0	35.7	49.3	0.0	

第一志望企業の 従業員規模・業界

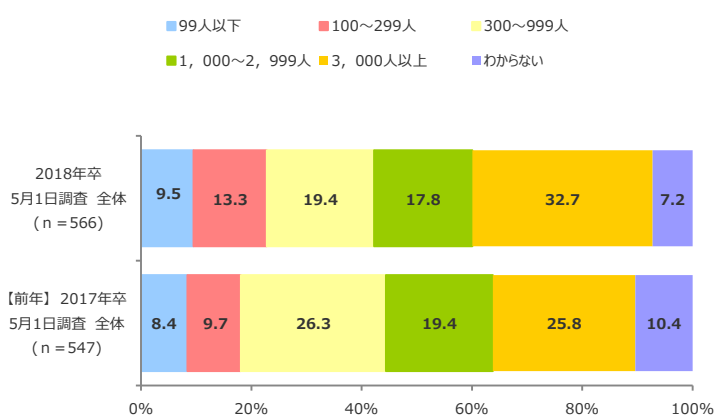
「14 第一志望企業の選考段階」で第一志望の企業が「ある」と回答した学生に、第一志望の企業の従業員規模と業界について聞いた。

第一志望の企業の従業員規模は、「3,000人以上」と回答した学生が32.7%で最多となり、前年より6.9ポイント増加した（図15）。属性別に見ると、男女別では男性、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生で、「3,000人以上」の企業を第一志望にしている学生の割合が高い（表15.1）。

第一志望の企業の業界として最も回答を集めたのは「メーカー」で、33.7%だった。以降は「金融・証券・保険」10.1%、「ソフトウェア・通信」9.0%、「サービス」8.5%となっている。属性別で見ると、理系学生の51.4%は「メーカー」を第一志望に挙げていた（表15.2）。

【図15】第一志望の企業の従業員規模：前年調査との比較

【表15.1】第一志望の企業の従業員規模：属性別



		99人以下	100~299人	300~999人	1,000~2,999人	3,000人以上	わからない
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2018年卒 5月1日調査 全体 (n=566)		9.5	13.3	19.4	17.8	32.7	7.2
【前年】2017年卒 5月1日調査 全体 (n=547)		8.4	9.7	26.3	19.4	25.8	10.4
男女別	男性 (n=237)	9.7	11.4	13.9	19.0	39.7	6.3
	女性 (n=329)	9.5	14.6	23.4	17.0	27.7	7.9
文理別	文系 (n=383)	10.5	13.6	19.6	18.0	31.1	7.3
	理系 (n=183)	7.6	12.6	19.1	17.5	36.1	7.1
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=313)	3.5	5.1	15.7	21.1	49.2	5.4
	中小企業志向 (n=151)	18.5	28.5	29.8	11.9	6.6	4.6
	企業の規模は全く意識していない (n=102)	14.7	15.7	15.7	16.7	20.6	16.7
状況別	内定あり (n=185)	8.6	12.4	15.7	20.5	37.3	5.4
	内定なし (n=381)	9.9	13.6	21.3	16.5	30.4	8.1

【表15.2】第一志望の企業の業界：属性別

		メーカー	金融・証券・保険	ソフトウェア・通信	サービス	マスコミ	倉庫・物流	運輸・物流	商社	団体・公庁・公社	ホテル・旅行	レストラン	小売	医療・福祉	教育	不動産	エネルギー	その他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=566)		33.7	10.1	9.0	8.5	6.5	5.3	4.8	3.7	3.5	3.2	3.0	2.5	1.9	1.8	2.5		
男女別	男性 (n=237)	36.7	7.2	12.7	5.9	7.2	5.9	4.2	3.4	2.5	3.0	1.3	2.1	2.5	2.1	3.4		
	女性 (n=329)	31.6	12.2	6.4	10.3	6.1	4.9	5.2	4.0	4.3	3.3	4.3	2.7	1.5	1.5	1.8		
文理別	文系 (n=383)	25.3	14.1	7.0	9.9	8.1	6.5	6.0	3.7	4.7	4.2	1.6	2.6	2.3	1.6	2.3		
	理系 (n=183)	51.4	1.6	13.1	5.5	3.3	2.7	2.2	3.8	1.1	1.1	6.0	2.2	1.1	2.2	2.7		
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=313)	36.1	13.1	6.4	7.3	7.0	6.4	3.8	2.9	2.6	3.2	2.9	1.6	1.9	3.2	1.6		
	中小企業志向 (n=151)	29.1	6.6	13.9	10.6	7.9	3.3	7.9	2.6	4.6	2.6	4.0	2.6	3.3	0.0	0.7		
	企業の規模は全く意識していない (n=102)	33.3	5.9	9.8	8.8	2.9	4.9	2.9	7.8	4.9	3.9	2.0	4.9	0.0	0.0	7.8		
状況別	内定あり (n=185)	35.1	7.0	11.4	11.9	3.2	4.3	3.8	3.2	7.0	2.7	2.2	1.6	2.2	2.7	1.6		
	内定なし (n=381)	33.1	11.5	7.9	6.8	8.1	5.8	5.2	3.9	1.8	3.4	3.4	2.9	1.8	1.3	2.9		

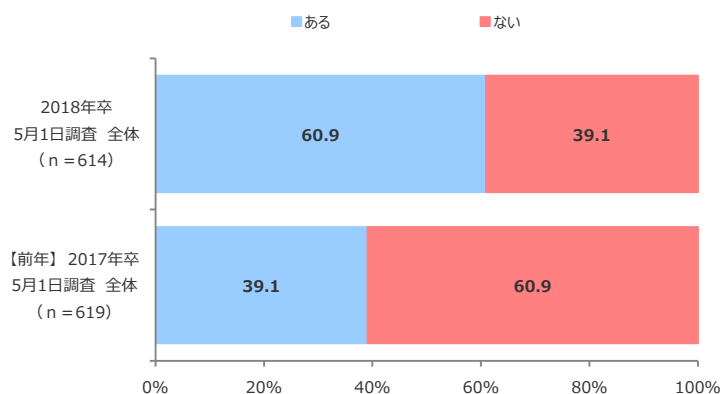
“記念受験”企業の 従業員規模・業界

「7 応募企業数」で「1社」以上を回答した学生に、“記念受験”の企業について聞いた。“記念受験”の企業が「ある」と回答した学生は60.9%で、前年調査から大幅に増加した（図16）。

さらに、“記念受験”の企業が「ある」と回答した学生に、その企業の従業員規模を聞くと、多い順に「3,000人以上」38.0%、「1,000～2,999人」31.6%となった。属性別では、「大企業志向」の学生や「内定あり」の学生で「3,000人以上」の企業を回答した割合が高くなっている（表16.1）。

“記念受験”の企業の業界は、多い順に「メーカー」42.2%、「商社」16.0%、「ソフトウェア・通信」15.8%だった（表16.2）。

【図16】記念受験の企業はあるか：前年調査との比較



【表16.1】記念受験の企業の従業員規模：属性別

		<複数回答>					
		9 9 人 以 下	2 1 9 0 人 以 上	9 3 9 0 人 以 上	2 1 9 0 人 以 上	以 上 3 人	わ か ら な い
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=374)		16.6	20.6	28.9	31.6	38.0	13.6
男女別	男性 (n=158)	17.8	20.3	22.8	32.3	42.4	15.2
	女性 (n=216)	15.8	20.8	33.3	31.0	34.7	12.5
文理別	文系 (n=270)	18.1	20.4	28.9	28.1	35.9	15.6
	理系 (n=104)	12.5	21.2	28.8	40.4	43.3	8.7
企業規模に 対する志向別	大企業志向 (n=204)	13.8	14.7	25.5	33.3	52.0	11.8
	中小企業志向 (n=103)	20.4	35.0	38.8	33.0	17.5	6.8
	企業の規模は全く意識していない (n=67)	19.4	16.4	23.9	23.9	26.9	29.9
状況獲得別	内定あり (n=120)	11.6	18.3	25.8	29.2	43.3	14.2
	内定なし (n=254)	18.9	21.7	30.3	32.7	35.4	13.4

【表16.2】記念受験の企業の業界：属性別

		<複数回答>															
		メー カ ー	商 社	通 信 ソ フ ト ウ エ ア ・	サ ー ビ ス	保 険 ・ 金 融 ・ 証 券 ・	マ ス コ ミ	小 売	不 動 産	倉 庫 ・ 運 輸 ・ 物 流 ・	ホ テ ル ・ 旅 行	フ ー ド ・ レ ス ト ラ ン ・	団 体 公 庁 ・ 公 社 ・	官 公 ・ 教 育	エ ネ ル ギ ー	医 療 ・ 福 祉	そ の 他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=374)		42.2	16.0	15.8	15.8	13.6	12.6	8.6	6.7	5.6	5.1	4.0	3.7	3.2	2.4	2.1	
男 女 別	男性 (n=158)	43.0	15.8	19.6	11.4	12.7	8.9	10.1	8.2	4.4	3.2	3.2	3.8	4.4	3.8	1.3	
	女性 (n=216)	41.7	16.2	13.0	19.0	14.4	15.3	7.4	5.6	6.5	6.5	4.6	3.7	2.3	1.4	2.8	
文 理 別	文系 (n=270)	35.9	20.0	13.3	18.5	17.8	13.3	10.7	8.1	7.0	5.6	5.6	5.2	3.3	1.9	1.1	
	理系 (n=104)	58.7	5.8	22.1	8.7	2.9	10.6	2.9	2.9	1.9	3.8	0.0	0.0	2.9	3.8	4.8	
対 す る 企 業 規 模 に 志 向 別	大企業志向 (n=204)	45.6	17.2	13.2	16.2	17.2	11.8	7.8	6.4	6.9	4.4	4.4	3.4	4.4	1.5	2.0	
	中小企業志向 (n=103)	39.8	14.6	20.4	15.5	7.8	14.6	10.7	5.8	3.9	5.8	0.0	1.0	1.9	2.9	2.9	
	企業の規模は全く意識 していない (n=67)	35.8	14.9	16.4	14.9	11.9	11.9	7.5	9.0	4.5	6.0	9.0	9.0	1.5	4.5	1.5	
内 定 獲 得 別	内定あり (n=120)	40.8	17.5	11.7	20.8	5.8	8.3	7.5	5.8	5.0	8.3	5.0	4.2	1.7	3.3	1.7	
	内定なし (n=254)	42.9	15.4	17.7	13.4	17.3	14.6	9.1	7.1	5.9	3.5	3.5	3.5	3.9	2.0	2.4	

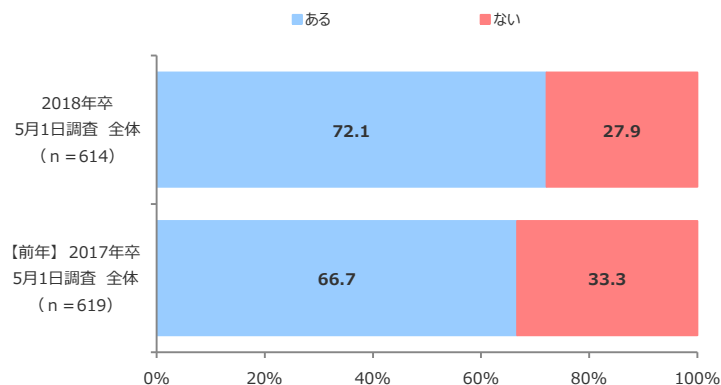
“練習受験”企業の 従業員規模・業界

「7 応募企業数」で「1社」以上を回答した学生に、“練習受験”の企業について聞いた。“練習受験”の企業が「ある」と回答した学生は72.1%で、前年調査から5.4ポイント増加した（図17）。

さらに、“練習受験”の企業が「ある」と回答した学生に、その企業の従業員規模を聞くと、多い順に「300～999人」36.8%、「100～299人」32.1%となった。第一志望や記念受験の企業では比較的大規模の企業の回答が多かったが、“練習受験”では中・小規模企業の割合が高くなっている（表17.1）。

“練習受験”の企業の業界は、多い順に「メーカー」43.8%、「ソフトウェア・通信」19.9%、「サービス」17.4%だった（表17.2）。

【図17】練習受験の企業はあるか：前年調査との比較



【表17.1】練習受験の企業の従業員規模：属性別

		<複数回答>					
		9 9 人 以 下	2 1 9 0 人 以 上	9 3 9 0 人 以 上	2 1 9 0 人 以 上	以 上 3 人	わ か ら な い
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=443)		25.8	32.1	36.8	26.6	23.5	14.0
男女別	男性 (n=182)	25.2	27.5	30.2	28.6	28.0	14.3
	女性 (n=261)	26.1	35.2	41.4	25.3	20.3	13.8
文理別	文系 (n=323)	24.8	29.4	35.3	24.5	22.6	15.8
	理系 (n=120)	28.3	39.2	40.8	32.5	25.8	9.2
対 す る 志 向 別	大企業志向 (n=242)	21.5	26.4	37.2	31.0	33.1	12.0
	中小企業志向 (n=122)	32.8	50.0	40.2	22.1	9.8	8.2
	企業の規模は全く意識 していない (n=79)	27.9	21.5	30.4	20.3	15.2	29.1
状 況 別	内定あり (n=153)	22.2	28.8	37.3	26.1	25.5	13.1
	内定なし (n=290)	27.6	33.8	36.6	26.9	22.4	14.5

【表17.2】練習受験の企業の業界：属性別

		<複数回答>															
		メ ー カ ー	通 信 ソ フ ト ウ エ ア ・	サ ー ビ ス	商 社	小 売	保 険 ・ 金 融 ・ 証 券 ・	不 動 産	ホ テ ル ・ 旅 行	フ ィ ー ド ・ ド ラ ン ・	マ ス コ ミ	教 育	倉 庫 ・ 運 輸 ・ 物 流 ・	医 療 ・ 福 祉	団 体 公 庁 ・ 公 社 ・	エ ネ ル ギ ー	そ の 他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=443)		43.8	19.9	17.4	15.3	12.2	11.1	9.9	7.0	6.5	5.9	5.2	4.5	3.4	1.4	2.0	
男 女 別	男性 (n=182)	44.0	20.9	14.3	13.7	10.4	9.9	11.5	3.8	4.4	4.9	5.5	4.9	2.7	1.6	1.6	
	女性 (n=261)	43.7	19.2	19.5	16.5	13.4	11.9	8.8	9.2	8.0	6.5	5.0	4.2	3.8	1.1	2.3	
文 理 別	文系 (n=323)	39.3	17.3	19.5	18.6	14.9	14.6	12.1	7.7	7.4	7.4	6.8	3.4	4.0	1.2	2.2	
	理系 (n=120)	55.8	26.7	11.7	6.7	5.0	1.7	4.2	5.0	4.2	1.7	0.8	7.5	1.7	1.7	1.7	
対 す る 志 向 別	大企業志向 (n=242)	46.7	21.1	14.0	12.0	11.6	15.7	9.5	8.3	6.2	4.5	6.2	2.9	2.9	1.2	2.1	
	中小企業志向 (n=122)	41.0	18.0	19.7	25.4	13.9	4.9	10.7	5.7	7.4	4.9	3.3	6.6	2.5	1.6	1.6	
	企業の規模は全く意識 していない (n=79)	39.2	19.0	24.1	10.1	11.4	6.3	10.1	5.1	6.3	11.4	5.1	6.3	6.3	1.3	2.5	
状 況 別	内定あり (n=153)	39.2	17.6	22.9	15.0	15.0	5.9	13.1	9.2	4.6	5.2	5.9	4.6	3.9	2.0	3.3	
	内定なし (n=290)	46.2	21.0	14.5	15.5	10.7	13.8	8.3	5.9	7.6	6.2	4.8	4.5	3.1	1.0	1.4	

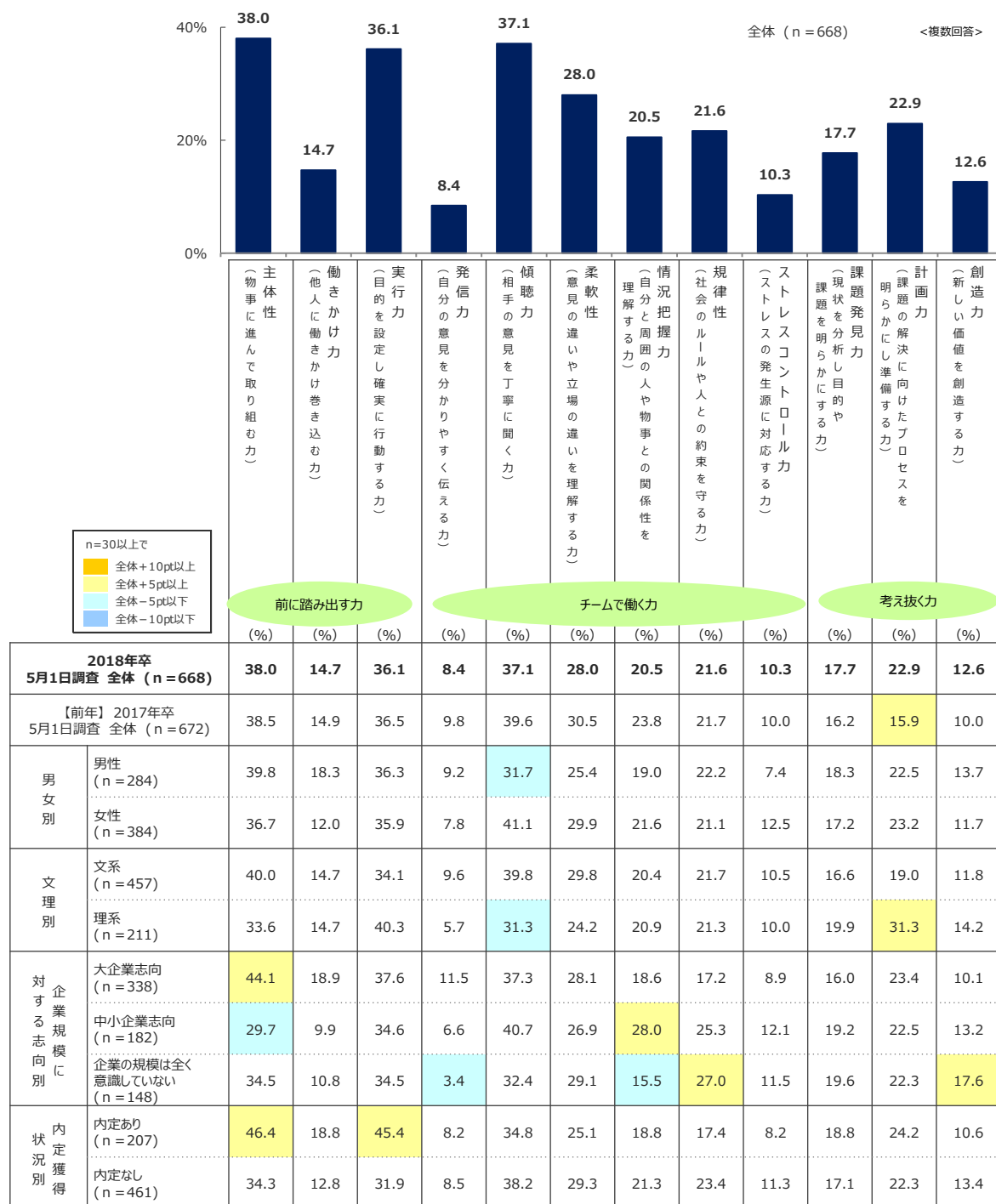
身につけている社会人基礎力

学生に、自身が身につけていると思う社会人基礎力を3つまで聞いた。最も多かったのは「主体性」で38.0%、次点は「傾聴力」で37.1%となった。

男女別に見ると、回答が多い順に、男性は「主体性」「実行力」「傾聴力」、女性は「傾聴力」「主体性」「実行力」となっている。

内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生は「主体性」「実行力」と回答する割合が全体よりも8～9ポイント高くなっている（図18.1）。

【図18.1】身につけている社会人基礎力：属性別

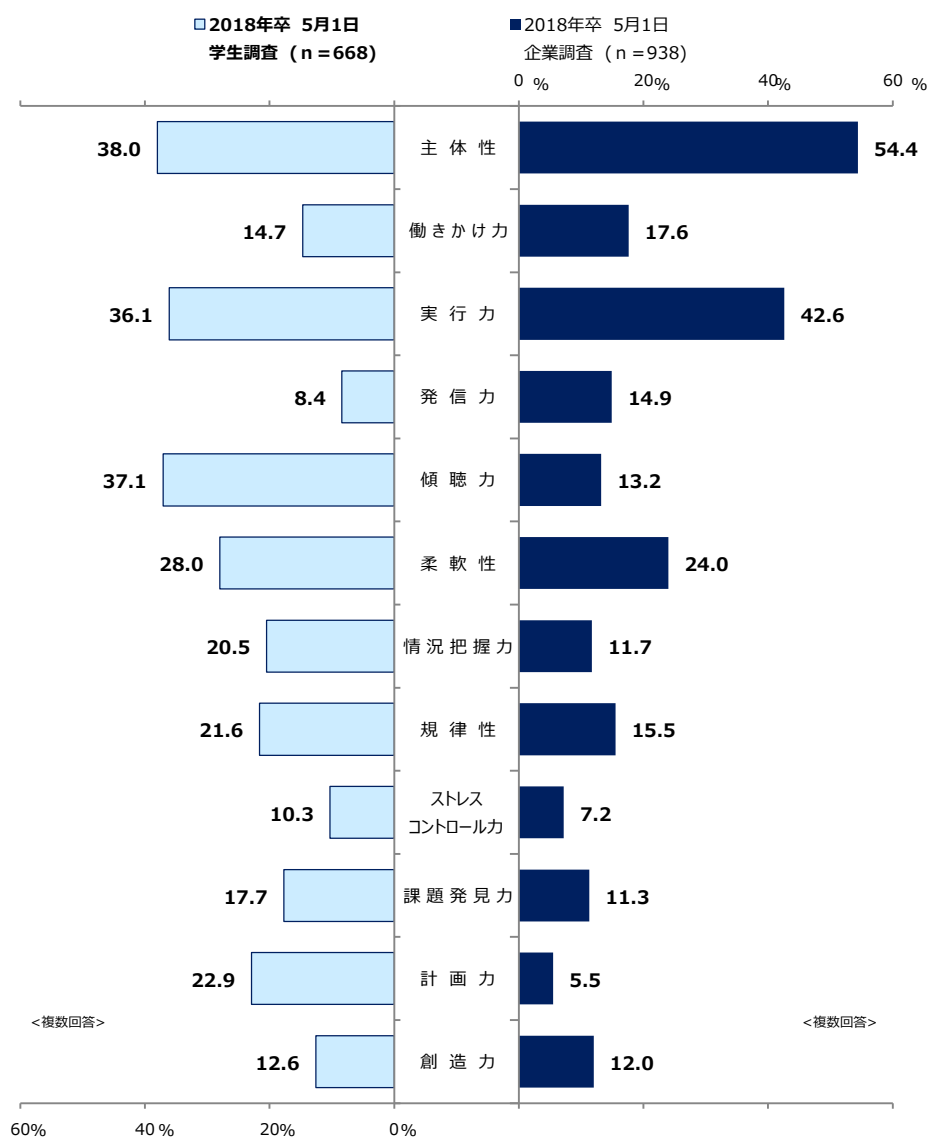


また、企業の新卒採用業務担当者938名を対象に行なった「2018年卒新卒採用に関する企業調査（2017年5月1日状況）」では、企業側が学生に求める社会人基礎力を聞いているため、本調査の結果と比較した。

企業側が学生に求める社会人基礎力は、「主体性」「実行力」が突出して高かった。学生調査を見ても、「内定あり」の学生では、「主体性」「実行力」に自信がある学生の割合が高くなっており、ここからも、企業がこれらを特に重視していることが裏づけされている。

一方、学生調査で上位に挙がっていた「傾聴力」は、企業側から見ると重視度は高くなく、学生と企業で認識の違いが見られる（図18.2）。

【図18.2】身につけている社会人基礎力：企業調査との比較



就職活動を継続している理由

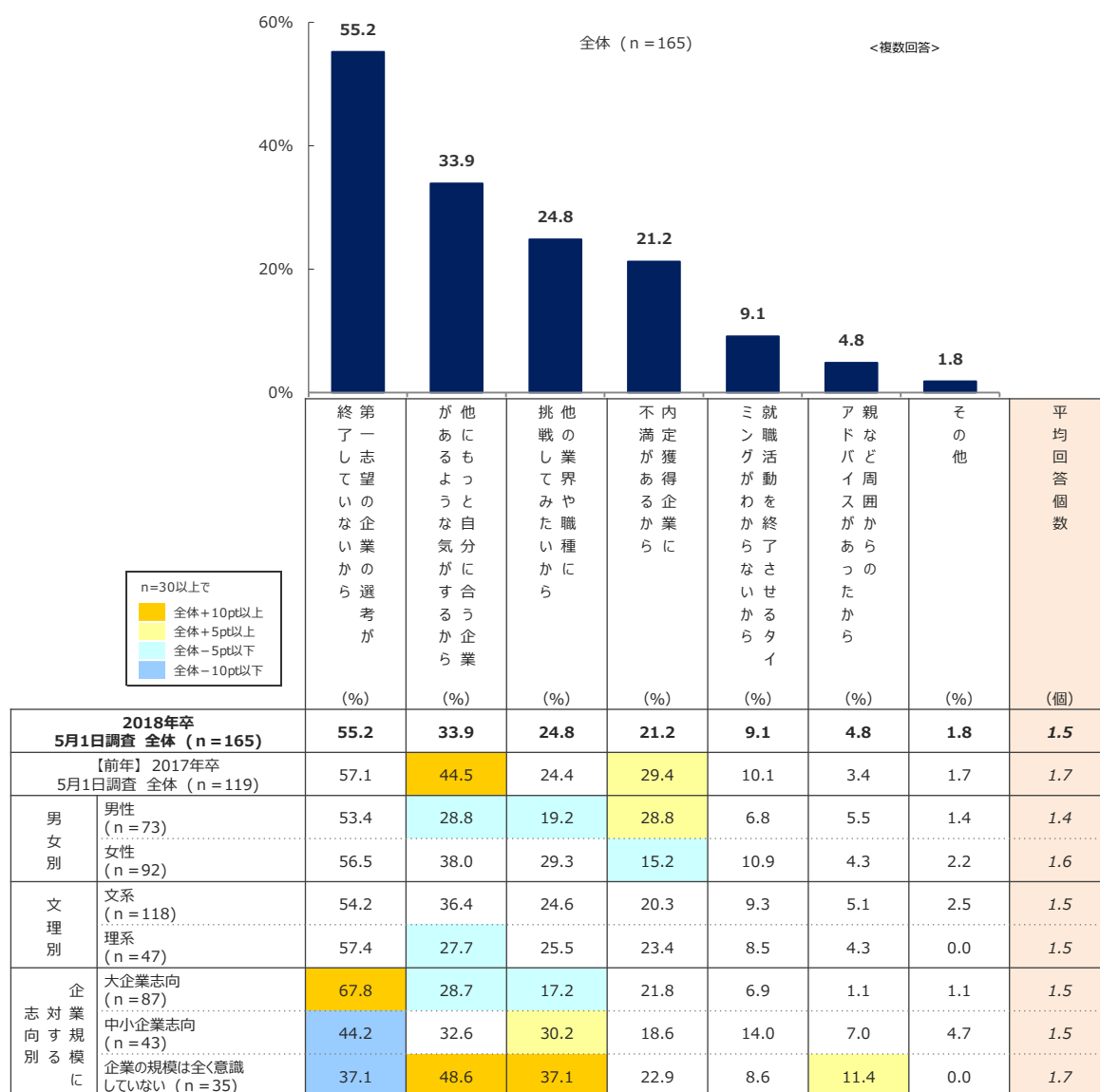
「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活継続段階」と回答した学生に対し、内定を獲得したにもかかわらず、就職活動を継続している理由を聞いた。結果は、「第一志望の企業の選考が終了していないから」が最も多く55.2%、次いで「他にもっと自分に合う企業があるような気がするから」33.9%、「他の業界や職種に挑戦してみたいから」24.8%の順となった。

前年調査と比較すると、減少幅が大きかったのは「他にもっと自分に合う企業があるような気がするから」で10.6ポイント減、「内定獲得企業に不満があるから」で8.2ポイント減となっている。2017年卒学生と比べて、内定企業に納得・満足している様子がうかがえる。

男女別に見ると、男性は女性よりも「内定獲得企業に不満があるから」の回答割合が高く、13.6ポイントの差となっている。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は「第一志望の企業の選考が終了していないから」、「その他の学生は「他にもっと自分に合う企業があるような気がするから」「他の業界や職種に挑戦してみたいから」の回答割合がそれぞれ高くなっていた（図19）。

【図19】内定を獲得したにもかかわらず、就職活動を継続している理由：属性別

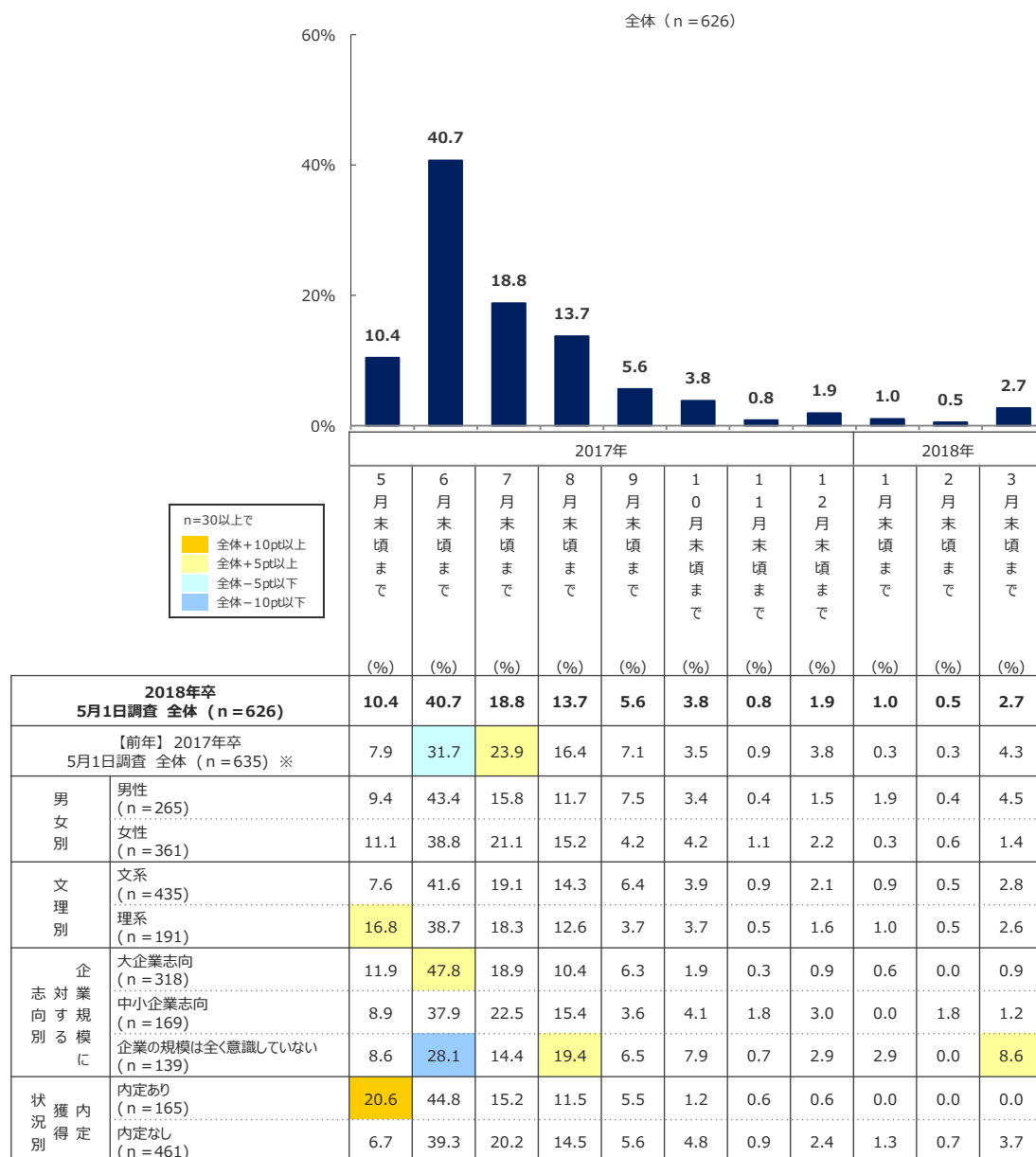


就職活動終了見込み時期

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」以外の回答をした学生に対し、現在までの就職活動の進捗を踏まえて、いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているかを聞いた。最も多くの回答を集めたのは「6月末頃まで」で、40.7%だった。「5月末頃まで」の回答を合わせると、選考活動解禁直後の6月末頃までに51.1%の学生が就職活動を終了させる意向のようだ。また、前年調査では、「5月末頃まで」「6月末頃まで」の合計が39.6%だったのに対し、今回は11.5ポイント増加しており、就職活動を早々に切り上げる学生が増えそうだ。

内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の65.4%は、選考活動解禁直後の6月末頃までに就職活動を終わらせたいとしている（図20）。

【図20】いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているか



※前年調査は、2016年5月末頃～2017年3月末頃の時期について聴取